

	単元名・題材名	学習のねらい
一 学 期	言葉に出会うために 野原はうたう 1 学びをひらく ・シュンシュン(物語) ・漢字①	・それぞれの詩に描かれた世界を読み取り、音読する。 ・場面の展開に沿って、登場人物の関係の変化をとらえる。 ・主な部首の名称と成り立ちを踏まえて理解する。
	2 新しい視点で ・ダイコンは大きな根?(説明文) ・ちょっと立ち止まって(説明文) ・文法への扉①	・段落の役割に着目して、文章の内容を捉える。 ・段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉える。 ・「文」「文節」「単語」など、言葉の単位について理解する。
	硬筆	・硬筆ペンを用いて、縦書きの特徴を生かした文字を書く。
	3 言葉に立ち止まる ・詩の世界(詩) ・比喩で広がる言葉の世界(説明文) ・言葉①	・詩の言葉の豊かさに触れ、ものの見方や感じ方を広げる。 ・文章全体における各段落の役割をおさえ、文章の内容を正確に捉える。 ・指示する語句の使い分けを理解し、文と文のつながりを把握する。
	読書生活を豊かに 読書を楽しむ 読書案内 本との出会い(コラム)	・読書紹介を通して情報の読み取り方を学習する。
二 学 期	4 心の動き ・大人になれなかった弟たちに (物語) ・星の花が降るころに(小説) ・言葉② ・漢字②	・描写を基に、登場人物の行動や心情の変化を捉える。 ・場面と場面、場面と人物などの描写を結び付けて、作品を読み深める。 ・方言の特徴を知り、方言の役割について考える。 ・漢字の歴史をふまえて音と訓の成り立ちを理解する。
	5 筋道を立てて ・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ (記録文)	・筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。
	6 いにしへの心にふれる ・いろは歌(古文) ・古典の世界(解説文) ・蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から (古文) ・今に生きる言葉(漢文)	・古典の文章に出会い、古典特有のリズムを味わう。 ・様々な種類の古典作品にふれ、現在のないものに思いを馳せる。 ・語句の意味や古文の表現の特徴に注意して物語の展開、あらすじを理解する。 ・故事成語とは、どのような言葉かを理解し、どんな由来があるのかを知る。
	7 価値を見いだす ・「不便」の価値を見つめ直す(意見文) ・文法への扉②	・必要な情報を取り出し、結び付けて要約する。 ・「主語・述語」「修飾・被修飾」などの関係について理解する。
	書き初め	・毛筆を用い、行書の特徴を生かした文字を書く。
	読書に親しむ「考える人になろう」	・文章に表れたものの見方から、自分のものの見方や考えを広げる。
三 学 期	7 自分を見つける ・少年の日の思い出(小説) ・文法への扉③ ・随筆二編(随筆) ・言葉③ ・漢字③ ・さくらの はなびら(詩)	・登場人物のものの見方、感じ方、生き方について自分の考えを持つ。 ・自立語と付属語について理解する。 ・場面の展開や描写を基に、筆者の考えや思いを捉える。 ・さまざまな表現技法を理解し、生活の中で表現する力を養う。 ・漢字の成り立ちについて理解する。 ・詩の言葉や表現を読み味わい、作者の思いについて考える。

	単元名・題材名	学習のねらい
一 学 期	・見えないだけ（詩）	・1つ1つの語句に着目し、作者の思いを捉える。
	1 広がる学びへ ・アイスプラネット（小説） ・枕草子（古文） ・多様な方法で情報を集めよう ・漢字①	・登場人物の言動や心情を表す表現などに注意して、作品を読み取る。 ・昔の人のものの見方、感じ方にふれ、感性を豊かにする。 ・自分が伝えたい内容を明確にして、文章の構成を工夫する。 ・熟語の構成について理解する。
	2 多様な視点から ・クマゼミ増加の原因を探る ・魅力的な提案をしよう ・文法への扉 1	・文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読む。 ・プレゼンテーションについて理解する。 ・自立語と付属語、活用の有無について理解する。
	硬筆 3 言葉と向き合う ・短歌に親しむ（解説文） ・短歌を味わう（短歌） ・言葉の力 ・言葉① ・言葉を比べよう ・読書生活を豊かに	・硬筆ペンを用いて、横書きの特徴を生かした文字を書く。 ・言葉のもつ意味について考え、語感を磨く。 ・短歌について知り、表現の美しさを味わう。 ・作品に込められたものの見方や感じ方を捉え、自分の考え方を深める。 ・対義語や類義語、多義語の意味や用法に注意する。 ・似た気持ちを表す言葉の意味の違いを比べ、物語を書く。 ・本の紹介をしたり、感想を伝え合ったりする。
二 学 期	4 人間のきずな ・盆土産（小説） ・字のないはがき（随筆） ・推敲 ・表現を工夫して書こう ・言葉 2 ・漢字 2	・人物描写の優れた小説を読み味わう。 ・家族のきずなや人間関係についての考えをもつ。 ・書いた文章を読み返し、言葉の使い方を理解する。 ・通信手段の選び方や、思いや要件を伝えるための工夫を考える。 ・敬語の種類や特徴について理解する。 ・同訓異字や同音異義語などの意味、用法を理解する。
	5 論理を捉えて ・モアイは語る（論説文）	・意見を裏付けるための、適切な根拠の在り方について理解する。
	6 いにしへの心を訪ねる ・平家物語 扇の的（古文） ・仁和寺にある法師（古文） ・漢詩の風景（漢詩）	・文語文の表現に慣れ、特徴をつかんで読み味わう。 ・古典の文章を朗読してその表現に慣れ、作品を読み味わう。 ・漢詩特有の調子を生かして読み味わう。
	7 価値を語る ・君は「最後の晚餐」を知っているか ・「最後の晚餐」の新しさ ・根拠を明確にして意見を書こう ・文法への扉 2 ・読書に親しむ	・文章中に示された事実や根拠を確かめながら、筆者の意見を読み取る。 ・自分の意見と根拠を明確にし、文章構成を工夫しながら書く。 ・用言の活用について理解する。 ・読書を通して様々な状況やそこに生きる人の姿に触れ、自分の考えを深める。
三 学 期	書き初め	・毛筆を用い、行書の特徴を生かした文字を書く。
	8 表現を見つめる ・走れメロス（小説） ・文法への扉 3 ・構成や展開を工夫して書こう ・言葉 3 ・漢字 3 ・国語の学びを振り返ろう ・木（詩）	・人間の生き方や考え方について自分の考えをもつ。 ・付属語について理解する。 ・これまでに読んだ物語や小説を参考にしながら、構成や展開を工夫して書く。 ・「話し言葉」と「書き言葉」の特徴を理解する。 ・送り仮名の付け方の原則を理解する。 ・1年間の学びを振り返り、国語を学ぶ意義を考える。 ・作者のものの見方を捉え、自分の考えを広げる。

	単元名・題材名	学習のねらい
一 学 期	・世界はうつくしいと（詩）	・詩に込められた作者の思いを読み取る。
	1 深まる学びへ ・握手（小説） ・学びて時に之を習ふ（漢文） ・文章の種類を選んで書こう ・漢字①「熟語の読み方」	・言葉やエピソードから人物像をとらえ、内容を理解する。 ・漢文の特徴を理解し、論語の考え方を理解する。 ・文章の種類や紙面構成を工夫して、1冊の修学旅行記を書く。 ・熟語の読み方を知り、文章中で使えるようにする。
	2 視点を広げて ・作られた「物語」を超えて（論説文） ・説得力のある構成を考えよう ・リオの伝説のスピーチ（資料） ・文法への扉①	・筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目し、主張を捉える。 ・自分が訴えたいことを見つけ、クラス全体にスピーチする。 ・実際のスピーチを読み、自分のスピーチに生かしたいことを考える。 ・これまでに学習してきた文法の知識を、表現や読解に生かす。
	硬筆	・硬筆ペンを用いて、行書の特徴を生かした文字を書く。
	3 言葉とともに ・俳句の可能性 ・俳句を味わう ・言語①「和語・漢語・外来語」 ＜読書生活を豊かに＞ ・羊と鋼の森（小説） ・ためになるってどんなこと？	・筆者のもの見方、感じ方、表現の仕方を読み味わい俳句の世界に親しむ。 ・俳句に表現されている作者の思いなどを捉え、朗読する。 ・和語、漢語、外来語について理解する。 ・表現上の工夫を味わって読む。 ・場面や登場人物の設定の仕方を意識して読む。 ・筆者の考えを読み取り、自分の考えを深めよう。
二 学 期	4 状況の中で ・挨拶（詩） ・故郷（小説） ・論理の展開を整える ・言葉②「慣用句・ことわざ・故事成語」 ・漢字②「漢字の造語力」	・詩に表現されている内容と、現実の世界の在り方とを対応させながら読む。 ・情景や人物を描写する語句や表現に着目し、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。 ・書いた文章を読み返し、文章全体を整える。 ・慣用句、ことわざ、故事成語の特徴や性質を知る。 ・漢字の造語力について知り、語彙を豊かにする。
	5 自らの考えを ・人工知能との未来（論説文） ・人間と人工知能と創造性（論説文） ・初恋（詩）	・人間と人工知能との関わりについて述べた二つの文章を読み、自分の考えをまとめる。 ・詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫を捉えよう。
	6 いにしえの心を受け継ぐ ・古今和歌集 仮名序（古文） ・君待つと（古文） ・夏草（古文） ・古典名句・名言集（古文・漢文）	・朗読を通して古文のリズムや響きを味わう。 ・和歌に表れた昔の人の心情や情景を読み取る。 ・文語文を表現のしかたや文体の特徴に注意して読み味わう。 ・古文と漢文、それぞれの名句・名言を味わう。
	7 価値を生み出す ・誰かの代わりに（論説文） ・漢字③ ・文法への扉② ＜読書に親しむ＞ ・エルサルバドルの少女ヘスース（随筆）	・抽象的な概念を表す語句の文脈上の意味に注意しながら読む。 ・三年間で学習した漢字のまとめをする。 ・品詞の見分け方を理解する。 ・目的をもって本を読み。自分の考えを深めよう。
	書き初め	・毛筆を用い、行書の特徴を生かした文字を書く。
三 学 期	8 未来へ向かって ・温かいスープ（随筆） ・わたしを束ねないで（詩） ・三年間の歩みを振り返ろう	・現代社会の可能性や困難について考え、意見を持つ。 ・詩のリズムを味わい朗読する。 ・三年間の学びを振り返り、自分の考えを深めて文章にまとめる。

令和5年度 1年 数学の学習

学期	単元名	単元のねらい(目標)	主な学習内容	
一学期	正負の数	正負の数や絶対値に関する意味を理解する。	正の符号、負の符号、正の数、負の数、自然数、原点、絶対値、不等号	
	加法と減法	正負の数の加減の計算の方法を理解し、その計算ができる。	正負の数の加法・減法、加法の交換法則、加法の結合法則、加法と減法の混じった式の計算	
	乗法と除法	正負の数の乗除の意味や累乗の意味を理解し、四則の混じった計算ができる。	正負の数の乗法・除法、乗法の交換法則、乗法の結合法則、累乗、指数、逆数の意味、正負の数の四則の混じった計算、分配法則	
	数の四則と集合	数の範囲によって計算の可能性に違いがあることを理解できる。	数の範囲と計算の可能性	
	文字を使った式	文字を使った式の積や商の表し方のきまりや、代入の意味を理解し、具体的数量を文字式で表すことができる。	数の拡張、自然数を素数の積で表すこと 文字使用のきまり、いろいろな数量を文字式に表すこと、文字式の表している数量を読みとること、代入と式の値の意味	
	文字式の計算	1次式の計算方法を理解し、1次式の加減や1次式と数の乗法の計算ができる。	項、係数と1次式の意味、1次式の加減、1次式と数の乗法、1次式のいろいろな計算、図形についての公式、 π の意味と π を使った公式	
関係を表す式	数量の相等・大小関係を式に表し、その意味を読み取ることができる。	数量の関係や法則などの関係を等式や不等式に表すこと		
二学期	方程式	等式の性質、方程式、方程式の解、移項、1次方程式などの意味を理解し、解くことができる。	方程式とその解、および方程式を解くことの意味、等式の性質、移項の意味、移項の考えを使って方程式を解くこと、かっこをくむ形の方程式を解くこと、小数や数の整数をもつ方程式の解き方	
	1次方程式の利用	いろいろな問題を方程式を活用して解決することができる。	問題解決のために方程式を用いること、文章題における解の吟味、方程式を使って問題を解くときの手順	
	比と比例式	簡単な比例式を解くことができる。	比と比の値 簡単な比例式を解くこと	
	関数	関数関係の意味が理解できる。	関数関係の意味、変数・変域の意味	
	座標・比例の式とグラフ	比例の意味を理解し、比例の関係を式で表すことができる。	点の座標の意味、比例・比例定数・比例の式を使って具体場面の問題を解くこと、 $y=ax$ のグラフ	
	反比例の式とグラフ	反比例の意味を理解し、反比例の関係を式で表すことができる。	反比例・比例定数の意味、反比例の式を使って具体場面の問題を解くこと、 $y=a/x$ のグラフ	
	比例と反比例の利用	具体的な事象の問題を、比例や反比例の考え方や比例のグラフを利用して解くことができる。	比例、反比例の見方をもとにして具体的な事象の中の変化する量について調べること、比例や反比例の考え方やグラフを利用して、具体場面の問題を解くこと	
	直線と図形	2直線の位置関係を表すことができる。	2直線の位置関係や距離、 \angle や Δ の記号の使い方	
図形の移動	線対称、点対称、線対称の軸、対称の中心の意味を理解する。	線対称、点対称、合同、垂直、平行、中点の意味、弧、弦、おうぎ形、中心角、多角形、正多角形		
基本の作図	作図の意味、基本の作図の手順を理解し、基本の作図をすることができる。	垂線、垂直二等分線、角の二等分線の意味とその作図、接線の性質とそれを利用した接線の作図、いろいろな条件の図を基本的な作図を使って求めること		
基本の作図の利用	図形の移動(平行、回転、対称)の意味と基本の性質を理解できる。	図形の移動(平行、回転、対称)の意味と基本の性質		
円とおうぎ形	おうぎ形のこの長さや面積の求め方を性質を理解する。	π の意味、おうぎ形の弧の長さや面積、円の接線		
三学期	いろいろな立体	多面体や角柱・円柱・円錐など、立体の名称について理解する。	多面体や正多面体の意味、角柱、円柱、角錐、円錐の意味とその特徴、展開図・見取り図・投影図	
	空間内の平面と直線	空間図形のいろいろな位置関係を理解する。	直線や平面の平行と垂直、ねじれの位置、面の動き、立体の展開図、立体の構成、回転体	
	立体の表面積と体積	積や体積、弧の長さや面積を求めることができる。	表面積、側面積、底面積、おうぎ形の弧の長さや面積、角柱・円柱・角錐・円錐の体積を求めること	
	球の表面積、体積	球の表面積、体積を求めることができる。	球の表面積、体積	
ヒストグラムと相対度数	ヒストグラムや相対度数、範囲、累積度数や代表値の必要性和意味を理解し、これらを用いて問題を解決する方法について理解する。	ヒストグラム、相対度数、範囲、累積度数などの必要性和意味、データの分布の特徴や傾向を読み取る 代表値の必要性和意味		
データに基づく確率	多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解する。	不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取る 確率		
評価方法	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	具体的評価項目	○数量・図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、処理できる。 ・ノート・発言 ・定期テスト ・小テスト ・教え合い	○事象を数量、図形などで数学的に考察し表現する仕方を身につけている。 ・ノート・発言 ・定期テスト ・小テスト ・教え合い	○数学的な事象に関心を持ち、それらの必要性や求め方を考えたり活用したりしようとしている。 ・ノート・発言・宿題 ・ワーク・テスト直し ・計算練習の取り組み ・教え合い

令和5年度 2年 数学の学習

学期	単元名	単元のねらい (目標)	主な学習内容	
一学期	式の計算	文字を用いた数式の四則計算が数と同じようにできることを理解するとともに、また正しく計算ができる。	単項式、多項式、項、次数、1次式、同類項の意味 同類項をまとめる計算 多項式どうしの加法と減法 多項式と数との乗法と除法 多項式のいろいろな計算	
	文字式の利用	事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現し、活用できる。目的に応じて、式を変形できる。	式による説明 等式の変形	
	連立方程式	2元1次方程式やこれらを連立さ	2元1次方程式、連立方程式、連立方程式の解の意味 加減法	
二学期	1次関数とグラフ	事象の中に1次関数の関係にある2量に着目し、式、値の変化、グラフなどを通してその特徴を理解する	事象の中から1次関数を見だし、式に表すこと 1次関数の意味、変化の割合の意味 1次関数のグラフの傾きと切片、増減とグラフ グラフから1次関数の式を求めること xの変域に対応するyの変域 いろいろな事象から1次関数を求めること	
	1次関数と方程式	方程式やその方程式が表すグラフについて理解する。2直線の交点と、2直線を表す2つの式を連立方程式と見なしたときの解とが一致することを理解する。	2元1次方程式のグラフと1次関数のグラフ $ax+by+c=0$ の形の方程式のグラフをかく 連立方程式の解とグラフの交点の座標 $y=k \cdot x+h$ のグラフの意味 グラフを利用して事実問題を解く	
	1次関数の利用	1次関数のを活用して問題を解決する方法を理解する。	1次関数の関係を表・式・グラフを用いて表し、問題を解決する	
	角と平行線	基本的な平面図形の性質を見だし、平行線の性質をもとにしてそれらを確かめる。	対頂角の意味 同位角と錯角の意味 平行線の性質 平行線になるための条件 三角形の内角と外角の関係 多角形の外角と内角 多角形の内角の和 多角形の外角の和 証明の意味	
	合同な図形	平面図形の性質を三角形の合同条件などをもとにして確かめ、証明する必要性を理解し、論理的に考察する。	図形の合同の意味と合同な図形の性質 三角形の合同条件 仮定と結論の意味 証明のすすめ方	
	三角形	平面図形の性質を三角形の合同条件などをもとにして確かめ、論理的に考察する。	二等辺三角形の頂角、底辺、底角の意味 二等辺三角形の定義 定義、定理の意味 定理の逆 二等辺三角形の底角の性質 二等辺三角形の頂角の二等分線の性質 二等辺三角形になるための条件 正三角形 直角三角形の合同条件	
三学期	四角形	平行四辺形の性質を、平行線の性質や三角形の合同条件などをもとにして確かめる。	平行四辺形の定義・性質 平行四辺形の性質を利用した証明 平行四辺形になるための条件 底辺に平行な直線上に頂点をもつ三角形の面積 面積を変えないで多角形を変形すること	
	場合の数と確率	具体的な事象について観察や実験を通して、確率について理解する。確率の意味を理解し、合理的に確率を求める。	実験や観察の結果求められる確率 樹形図や表の利用 場合の数から計算によって確率を求めること いろいろな確率の求め方	
	箱ひげ図とデータの活用	<ul style="list-style-type: none"> 具体的なデータを用いて、四分位数と箱ひげ図、四分位範囲について理解する。 箱ひげ図の活用法、ヒストグラムとの使い分けを学ぶ 	四分位数の理解とそれによって箱ひげ図が作られていること の理解、箱ひげ図によるデータの整理の仕方 四分位範囲の理解、箱ひげ図を利用し課題を解決すヒストグラムとの使い分け	
評価方法	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	具体的評価項目	<p>○数量・図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、処理できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ノート・発言 定期テスト 小テスト 教え合い 	<p>○事象を数量、図形などで数学的に考察し表現する仕方を身につけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ノート・発言 定期テスト 小テスト 教え合い 	<p>○数学的な事象に関心を持ち、それらの必要性や求め方を考えたり活用したりしようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ノート・発言・宿題 ワーク・テスト直し 計算練習の取り組み 教え合い

令和5年度 3年 数学の学習

学期	単元名	単元のねらい (目標)	主な学習内容	
一学期	多項式の計算	分配法則や乗法公式を的確に能率的に活用し、式を展開することができる。	分配法則を使った(単項式)×(多項式)、(多項式)÷(単項式)の計算 四則の混じった計算 分配法則を使った(多項式)×(多項式)の計算 展開の意味 乗法公式を使って式を展開すること 乗法公式を式計算に利用すること 根号をふくむ式を乗法公式を使って計算すること	
	因数分解	分配法則や乗法公式をもとにして、多項式を因数分解することができる。	因数、素数、素因数、素因数分解の意味 数を素因数に分解すること 共通因数や公式を利用し、式を因数分解すること 因数分解を数計算に応用すること 式による証明	
	式の計算の利用	文字を使って一般的に説明することの意味を理解する。		
	平方根	平方根の意味と根号を用いた数の表し方について理解する。さらに平方根の大小関係が判断できるようになり、平方根の近似値について理解する。また素数や素因数分解について学び、数を分解することを理解する。	平方根の意味 数の平方根を求めること 平方根に関する基本性質 $\sqrt{\quad}$ の意味とその使い方 平方根の大小 有理数 無理数	
	真の値と近似値 根号を含む式の計算	近似値や誤差有効数字の意味を理解する。平方根の性質を使って、平方根の簡単な四則計算ができるようになる。また、根号を含んだ式のいろいろな問題を解決することができるようになる。	近似値 誤差 有効数字 等の関係 根号をふくむ式の乗法と除法 公式を利用した数の変形 分母の有理化 根号をふくむ式の加法・減法 根号をふくむ式を分配法則を使って計算すること 平方根の具体的な場面での活用	
	2次方程式の解き方	2次方程式とその解の意味を理解し、2次方程式の解法を、既習の因数分解や平方根を求める方法と関連づけて解くことができる。	2次方程式の意味・2次方程式の解の意味 因数分解を使って2次方程式を解くこと 平方根の考えを使って2次方程式を解くこと 完全平方式をつくって2次方程式を解くことができることを知ること 解の公式	
二学期	2次方程式の利用 関数 $y=ax^2$	2次方程式を利用して、いろいろな問題を解決することができる。関数 $y=ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する。変化の割合をもとに変化の様子を調べ、関数 $y=ax^2$ についての理解を深める。また、具体的な事象の考察に関数 $y=ax^2$ を活用し、問題を解決する。	問題解決のために2次方程式を用いること いろいろな問題例とその立式における考え方 事象の中から $y=ax^2$ の関数係にある数量を見だし式に表すこと 関数 $y=ax^2$ の意味 $y=x^2$ のグラフ $y=ax^2$ のグラフとその特徴 変域の対応 変化の割合の意味とその求め方 変化の割合のグラフにおける意味 $y=ax+b$ と $y=ax^2$ の比較 物線と直線を利用して問題を解くこと 関数 $y=ax^2$ を利用して事実問題を解くこと	
	いろいろな関数 相似	真実的な事象の中には既習の関数関係以外のものがあることを理解する。拡大図・縮小図を用いたりして、相似の意味や相似な図形の性質について理解する。また、三角形の相似条件を使って図形の性質を調べる。中点連結定理について理解するとともに、相似の考えを利用して、事実問題を解決することができる。	(例) 鉄道の運賃など 拡大図・縮小図、図形の相似の意味 相似な図形の性質 相似の中心と相似の位置 相似比 比の性質 三角形の相似条件 三角形の相似条件を使って証明すること 相似を利用して距離や高さを求めること	
	平行線と比	三角形の相似条件を用いて、図形の性質を証明する。また、平行線と線分の比についての定理を理解する。	三角形の1辺に平行な直線と他の2辺に関する性質 中点連結定理 平行線と線分の比 平行線と線分の比の性質の利用 中点連結定理 相似な図形の面積比 相似な立体の体積比	
	三平方の定理	直角三角形の3辺の長さの間に、三平方の定理を見いだすことができる。また、三平方の定理の逆の意味を理解する。	三平方の定理 三平方の定理を使って辺の長さを求めること 三平方の定理の逆	
三学期	三平方の定理の利用	三平方の定理を平面図形や空間図形の計量に利用して、問題を解決する。	特別な直角三角形の辺の長さの比 三角形の高さ、円の接線、弦の長さ、2点間の距離、直 方体の対角線、角錐や円錐の体積を求めること 三平方の定理の活用	
	円の性質	円周角と中心角の関係を確かめ、それを用いて論理的に考察する。	円周角の意味 円周角と中心角の間の関係 円周角の定理の逆 接線の作図や証明への利用	
	標本調査	全数調査が困難な場合があることを知り、標本調査の必要性や意味を理解する。また簡単な標本調査を行い集団の傾向を説明することができる。	標本調査の必要性や意味 方法 抽出の方法 標本と母集団の関係の考察 標本調査から母集団の傾向を推測する	
評価方法	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	具体的評価項目	<p>○数量・図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、処理できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート・発言 ・定期テスト ・小テスト ・教え合い 	<p>○事象を数量、図形などで数学的に考察し表現する仕方を身につけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート・発言 ・定期テスト ・小テスト ・教え合い 	<p>○数学的な事象に関心を持ち、それらの必要性や求め方を考えたり活用したりしようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート・発言・宿題 ・ワーク・テスト直し ・計算練習の取り組み ・教え合い

令和5年度 社会科(地理・歴史)年間指導計画(第1学年)

月	単元名	時間	学習目標	学習内容・活動	評価			学習指導要領関連
					知識・技能	思考判断 表現	主体的に学習に 取り組む態度	
4	【地理】 世界と日本の姿 世界の姿	7	<ul style="list-style-type: none"> ・経度と緯度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解させる。 ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などの着目し多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 地球の姿を見てみよう 2 世界のさまざまな国 3 地球上の位置をあらわそう 4 地球儀と世界地図を比べてみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などの着目し多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及しようとしている 	A (1) ①
5	日本の姿	6	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観させ理解させる。 ・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目させて、多面的・多角的に考察、表現させる。 ・日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 日本の位置 2 日本と世界の時差 3 日本の領域の特色 4 北方領土・竹島と尖閣諸島 5 日本の都道府県 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観させ理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目させて、多面的・多角的に考察、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及しようとしている。 	A (1) ②
	世界のさまざまな地域 世界各地の人々の生活と環境	10	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然条件及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解させる。 ・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。その際、世界の主な宗教の分布についても理解させる。 ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目させて多面的・多角的に考察、表現させる。 ・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 雪と氷の中でくらす人々 2 寒暖の差が激しい土地にくらす人々 3 温暖な土地にくらす人々 4 乾燥した土地にくらす人々 5 常夏の島でくらす人々 6 標高の高い土地にくらす人々 7 世界に見られるさまざまな気候 8 人々の生活に根ざす宗教 	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然条件及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 ・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目させて多面的・多角的に考察、表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及しようとしている。 	

6	【歴史】 古代までの日本	25	<ul style="list-style-type: none"> 世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解させる。 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。 律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解させる。 仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解させる。 古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における国家形成、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。 古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 人類の出現の進化 2 古代文明のおこりと発展 3 中国文明の発展 4 ギリシャ・ローマの文明 5 宗教のおこりと三大宗教 6 旧石器時代と縄文時代の暮らし 7 弥生時代の暮らしと邪馬台国 8 大王の時代 9 聖徳太子の政治改革 10 東アジアの緊張と律令国家への歩み 11 律令国家の成立と平城京 12 奈良時代の人々の暮らし 13 天平文化 14 平安京と律令国家の変化 15 摂関政治の時代 16 国風文化 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。 律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。 仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における国家形成、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。 	<p>B (1) ア (ア)</p> <p>B (1) イ (ア)</p>
7								
9								
10								
11	【地理】 世界の諸地域	30	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解させる。 アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解させる。 アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目させ 	<ol style="list-style-type: none"> 1 アジア州 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州 4 北アメリカ州 5 南アメリカ州 6 オセアニア州 	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州 	<ul style="list-style-type: none"> アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目させて、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。 	<p>B (2)</p>
12								
1								

			て、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる		の地域的特色を大観し理解している。			
2	【歴史】 中世の日本	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解させる。 ・南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解させる。 ・農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。 ・武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 武士の成長 2 院政から武士の政権へ 3 鎌倉幕府の成立と執権政治 4 武士と民衆の生活 5 鎌倉時代の文化と宗教 6 モンゴル帝国とユーラシア世界 7 モンゴルの襲来 8 南北朝の動乱と室町幕府 9 東アジアとの交流 10 産業の発達と民衆の生活 11 応仁の乱と戦国時代 12 室町文化とその広がり 	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 ・南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。 ・農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 	<p>B (2) ア (ア)</p> <p>B (2) イ (ア)</p>	
3								

令和5年度社会科(地理歴年間指導計画(第2学年))

	単元名	時間	学習目標	学習内容・活動	評価			学習指導要領関連
					知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	
4 5	【歴史】 近世の日本	25	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人来航の背景とその影響, 織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係, 武将や豪商などの生活文化の展開などを基に, 近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。 ・江戸幕府の成立と大名統制, 身分制と農村の様子, 鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に, 幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。 ・産業や交通の発達, 教育の普及と文化の広がりなどを基に, 町人文化が都市を中心に形成されたことや, 各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。 ・社会の変動や欧米諸国の接近, 幕府の政治改革, 新しい学問・思想の動きなどを基に, 幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。 ・交易の広がりとその影響, 統一政権の諸政策の目的, 産業の発達と文化の担い手の変化, 社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 世界の動きと統一事業, 江戸幕府の成立と対外関係, 産業の発達と町人文化, 幕府の政治の展開について, 近世社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現させる。 ・近世の日本を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現させる。 ・近世の日本について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を身に付けさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 中世ヨーロッパとイスラム世界 2 ルネサンスと宗教改革 3 ヨーロッパ世界の拡大 4 ヨーロッパ人との出会い 5 織田信長・豊臣秀吉による統一事業 6 兵農分離と秀吉の対外政策 7 桃山文化 8 江戸幕府の成立と支配のしくみ 9 さまざまな身分と暮らし 10 貿易の振興から鎖国へ 11 鎖国下の対外関係 12 琉球王国やアイヌ民族との関係 13 農業や諸産業の発展 14 都市の繁栄と交通路の整備 15 幕府政治の安定と元禄文化 16 享保の改革と社会の変化 17 田沼の政治と寛政の改革 18 新しい学問と化政文 19 外国船の出現と天保の改革 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人来航の背景とその影響, 織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係, 武将や豪商などの生活文化の展開などを基に, 近世社会の基礎がつけられたことを理解している。 ・江戸幕府の成立と大名統制, 身分制と農村の様子, 鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に, 幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ・産業や交通の発達, 教育の普及と文化の広がりなどを基に, 町人文化が都市を中心に形成されたことや, 各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 ・社会の変動や欧米諸国の接近, 幕府の政治改革, 新しい学問・思想の動きなどを基に, 幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交易の広がりとその影響, 統一政権の諸政策の目的, 産業の発達と文化の担い手の変化, 社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 世界の動きと統一事業, 江戸幕府の成立と対外関係, 産業の発達と町人文化, 幕府の政治の展開について, 近世社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。 ・近世の日本を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近世の日本について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を身に付けさせる。 	<p>B (3) ア (ア)</p> <p>B (3) イ (ア)</p>

			<p>源・エネルギーと産業, ④交通・通信について, それぞれの地域区分を, 地域の共通点や差異, 分布などに着目させて, 多面的・多角的に考察し, 表現させる。</p> <p>・日本の地域的特色を, ①自然環境, ②人口, ③資源・エネルギーと産業, ④交通・通信に基づく地域区分などに着目させ, それらに関連付けて多面的・多角的に考察, 表現させる。</p> <p>・日本の地域的特色と地域区分について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>		<p>・①自然環境, ②人口, ③資源・エネルギーと産業, ④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ, 日本の国土の特色を大観させ, 理解している。</p> <p>・日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に, 地域区分をする技能を身に付けている。</p>				
10	【地理】 日本の諸地域	40	<p>・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について, その地域的特色や地域の課題を理解させる。</p> <p>・①自然環境, ②人口や都市・村落, ③産業, ④交通や通信, ⑤その他の事象を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と, それに関連する他の事象や, そこで生ずる課題を理解させる。</p> <p>・日本の諸地域において, それぞれ①自然環境, ②人口や都市・村落, ③産業, ④交通や通信, ⑤その他の事象までで扱う中核となる事象の成立条件を, 地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目させ, 他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察, 表現させる。</p> <p>・日本の諸地域について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>1 九州地方 2 中国・四国地方 3 近畿地方 4 中部地方 5 関東地方 6 東北地方 7 北海道地方 8 日本をながめて</p>	<p>・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について, その地域的特色や地域の課題を理解している。</p> <p>・①自然環境, ②人口や都市・村落, ③産業, ④交通や通信, ⑤その他の事象を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と, それに関連する他の事象や, そこで生ずる課題を理解している。</p>	<p>・日本の諸地域において, それぞれ①自然環境, ②人口や都市・村落, ③産業, ④交通や通信, ⑤その他の事象までで扱う中核となる事象の成立条件を, 地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目させ, 他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察, 表現している。</p>	<p>・日本の諸地域について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	C (3)	
11									
12									
1									

2	【歴史】 開国と近代 日本の歩み	18	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国における産業革命や市民革命, アジア諸国の動きなどを基に, 欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。 ・開国とその影響, 富国強兵・殖産興業政策, 文明開化の風潮などを基に, 明治維新によって近代国家の基礎が整えられて, 人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ・自由民権運動, 大日本帝国憲法の制定, 日清・日露戦争, 条約改正などを基に, 立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに, 我が国の国際的な地位が向上したことを理解させる。 ・我が国の産業革命, この時期の国民生活の変化, 学問・教育・科学・芸術の発展などを基に, 我が国で近代産業が発展し, 近代文化が形成されたことを理解させる。 ・工業化の進展と政治や社会の変化, 明治政府の諸改革の目的, 議会政治や外交の展開, 近代化がもたらした文化への影響などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き, 明治維新と近代国家の形成, 議会政治の始まりと国際社会との関わり, 近代産業の発展と近代文化の形成について, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現させる。 ・近代(前半)の日本と世界を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現させる。 ・近代(前半)の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を身に付けさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 イギリスとアメリカの革命 2 フランス革命 3 ヨーロッパにおける国民意識の高まり 4 ロシアの拡大とアメリカの発展 5 産業革命と資本主義 6 欧米のアジア侵略 7 開国と不平等条約 8 開国後の政治と経済 9 江戸幕府の滅亡 10 新政府の成立 12 維新の三大改革 13 富国強兵と文明開化 14 近代的な国際関係 15 国境と領土の確定 16 自由民権運動の高まり 17 立憲国家の成立 18 欧米列強の侵略と条約改正 19 日清戦争 20 日露戦争 21 韓国と中国 22 産業革命の進展 23 近代文化の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国における産業革命や市民革命, アジア諸国の動きなどを基に, 欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ・開国とその影響, 富国強兵・殖産興業政策, 文明開化の風潮などを基に, 明治維新によって近代国家の基礎が整えられて, 人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ・自由民権運動, 大日本帝国憲法の制定, 日清・日露戦争, 条約改正などを基に, 立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに, 我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ・我が国の産業革命, この時期の国民生活の変化, 学問・教育・科学・芸術の発展などを基に, 我が国で近代産業が発展し, 近代文化が形成されたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工業化の進展と政治や社会の変化, 明治政府の諸改革の目的, 議会政治や外交の展開, 近代化がもたらした文化への影響などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き, 明治維新と近代国家の形成, 議会政治の始まりと国際社会との関わり, 近代産業の発展と近代文化の形成について, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。 ・近代(前半)の日本と世界を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近代(前半)の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。 	<p>C (1) ア (ウ) (エ) (カ) C (1) イ (ア)</p>
3								

令和5年度 社会科(歴史・公民)年間指導計画(第3学年)

月	単元名	時間	学習目標	学習内容・活動	評価			学習指導要領関連
					知識・技能	思考・判断表現	主体的に学習に取り組む態度	
4 5 6	【歴史】 二度の世界大戦と 日本	20	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦の背景とその影響, 民族運動の高まりと国際協調の動き, 我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に, 第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと, 大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。 経済の世界的な混乱と社会問題の発生, 昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き, 中国などアジア諸国との関係, 欧米諸国の動き, 戦時下の国民の生活などを基に, 軍部の台頭から戦争までの経過と, 大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。 経済の変化の政治への影響, 戦争に向かう時期の社会や生活の変化, 世界の動きと我が国との関連などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現, 第二次世界大戦と人類への惨禍について, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現させる。 近代(後半)の日本と世界を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現させる。 近代(後半)の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を身につけさせる 	<ol style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦 ロシア革命 国際協調の高まり アジアの民族運動 大正デモクラシーと政党内閣の成立 広がる社会運動と男子普通選挙の実現 新しい文化と生活 世界恐慌とブロック経済 欧米の情勢とファシズム 昭和恐慌と政党内閣の危機 満州事変と軍部の台頭 日中戦争と戦時体制 第二次世界大戦の始まり 太平洋戦争の開始 戦時下の人々 戦争の終結 	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦の背景とその影響, 民族運動の高まりと国際協調の動き, 我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に, 第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと, 大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 経済の世界的な混乱と社会問題の発生, 昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き, 中国などアジア諸国との関係, 欧米諸国の動き, 戦時下の国民の生活などを基に, 軍部の台頭から戦争までの経過と, 大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している 	<ul style="list-style-type: none"> 経済の変化の政治への影響, 戦争に向かう時期の社会や生活の変化, 世界の動きと我が国との関連などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現, 第二次世界大戦と人類への惨禍について, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している 近代(後半)の日本と世界を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現している 	<p>近代(後半)の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</p>	<p>C (I) ア (オ)</p> <p>C (I) イ (ア)</p>

7	現代の日本と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷戦, 我が国の民主化と再建の過程, 国際社会への復帰などを基に, 第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。 ・ 高度経済成長, 国際社会との関わり, 冷戦の終結などを基に, 我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し, 国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。 ・ 諸改革の展開と国際社会の変化, 政治の展開と国民生活の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 日本の民主化と冷戦下の国際社会, 日本の経済の発展とグローバル化する世界について, 現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し, 表現させる。 ・ 現代の日本と世界を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現させる。 ・ 現代の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を身に付けさせる。 <p>これまでの学習を踏まえ, 歴史と私たちとのつながり, 現在と未来の日本や世界の在り方について, 課題意識をもって多面的・多角的に考察, 構想し, 表現させる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 占領下の日本 2 民主化と日本国憲法 3 冷戦の開始と植民地の解放 4 独立の回復と55年体制 5 緊張緩和と日本外交 6 日本の高度経済成長 7 冷戦後の国際社会 8 冷戦後の日本 9 持続可能な社会に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷戦, 我が国の民主化と再建の過程, 国際社会への復帰などを基に, 第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。 ・ 高度経済成長, 国際社会との関わり, 冷戦の終結などを基に, 我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し, 国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸改革の展開と国際社会の変化, 政治の展開と国民生活の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 日本の民主化と冷戦下の国際社会, 日本の経済の発展とグローバル化する世界について, 現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。 ・ 現代の日本と世界を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察し, 表現している。 	<p>現代の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようじている。</p>	<p>C (1) ア (カ)</p> <p>C (1) イ (ア)</p>
7	現代社会と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代日本の特色として少子高齢化, 情報化, グローバル化などが見られることについて理解させる。 ・ 現代社会における文化の意義や影響について理解させる。 ・ 現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして, 対立と合意, 効率と公正などについて理解させる。 ・ 人間は本来社会的存在であることを基に, 個人の尊厳と両性の本質的平等, 契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 持続可能な社会に向けて 2 グローバル化 3 少子高齢化 4 情報化 5 わたしたちの生活と文化 6 伝統文化 7 多文化共生を目指して 8 社会集団の中で生きる私たち 9 効率と公正 10 きまりの評価と見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代日本の特色として少子高齢化, 情報化, グローバル化などが見られることについて理解している。 ・ 現代社会における文化の意義や影響について理解している。 ・ 現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして, 対立と合意, 効率と公正などについて理解している。 ・ 人間は本来社会的 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 位置や空間的な広がり, 推移や変化などに着目して, 少子高齢化, 情報化, グローバル化などが現在と将来の政治, 経済, 国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し, 表現している。 ・ 位置や空間的な広がり, 推移や変化などに着目して, 文化の継承と創造の意義につ 	<p>現代社会を捉える枠組みについて, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>現代社会を捉える枠組みについて, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>A (1)</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・位置や空間的な広がり, 推移や変化などに着目して, 少子高齢化, 情報化, グローバル化などが現在と将来の政治, 経済, 国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し, 表現させる。 ・位置や空間的な広がり, 推移や変化などに着目して, 文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し, 表現させる。 ・対立と合意, 効率と公正などに着目して, 社会生活における物事の決定の仕方, 契約を通した個人と社会との関係, きまりの役割について多面的・多角的に考察し, 表現させる。 ・私たちが生きる現代社会と文化の特色について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 ・現代社会を捉える枠組みについて, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 		<p>存在であることを基に, 個人の尊厳と両性の本質的平等, 契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。</p>	<p>いて多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意, 効率と公正などに着目して, 社会生活における物事の決定の仕方, 契約を通した個人と社会との関係, きまりの役割について多面的・多角的に考察し, 表現している。 		
9 10	個人の尊重と 日本国憲法	15 <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方を, 基本的人権を中心に深め, 法の意義を理解させる。 ・民主的な社会生活を営むためには, 法に基づく政治が大切であることを理解させる。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重, 国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解させる。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。 ・対立と合意, 効率と公正, 個人の尊重と法の支配, 民主主義などに着目して, 我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し, 表現させる ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 人権の歴史と憲法 2 日本国憲法とは 3 国民主権と私たちの責任 4 平和主義の意義と日本の役割 5 基本的人権と個人の尊重 6 平等権と共生社会 7 自由権 8 社会権 9 人権保障を確かなものに 10 公共の福祉と国民の義務 11 新しい人権 12 グローバル社会と人権 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方を, 基本的人権を中心に深め, 法の意義を理解させる。 ・民主的な社会生活を営むためには, 法に基づく政治が大切であることを理解している。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重, 国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対・対立と合意, 効率と公正, 個人の尊重と法の支配, 民主主義などに着目して, 我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し, 表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	C (1)

11	現代の民主政治と 社会	20	<ul style="list-style-type: none"> ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させる。 ・議会制民主主義の意義, 多数決の原理とその運用の在り方について理解させる。 ・国民の権利を守り, 社会の秩序を維持するために, 法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させる。 ・地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際, 地方公共団体の政治の仕組み, 住民の権利や義務について理解させる。 ・対立と合意, 効率と公正, 個人の尊重と法の支配, 民主主義などに着目して, 民主政治の推進と, 公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現させる。 ・民主政治と政治参加について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 政治と民主主義 2 選挙の意義としくみ 3 政党の役割 4 マスメディアと世論 5 選挙の課題 6 国会の地位としくみ 7 法律や予算ができるまで 8 行政を監視する国会 9 行政のしくみと内閣 10 行政の役割と行政改革 11 裁判所のしくみと働き 12 裁判の種類と人権 13 裁判員制度 14 三権の抑制と均衡 15 わたしたちと地方自治 16 地方自治の制度 17 地方公共団体の課題 18 住民参加の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ・議会制民主主義の意義, 多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 ・国民の権利を守り, 社会の秩序を維持するために, 法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ・地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際, 地方公共団体の政治の仕組み, 住民の権利や義務について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意, 効率と公正, 個人の尊重と法の支配, 民主主義などに着目して, 民主政治の推進と, 公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治と政治参加について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 	C (2)
12	私たちのくらしと経済	20	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解させる。 ・市場経済の基本的な考え方について理解させる。その際, 市場における価格の決めり方や資源の配分について理解させる。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させる。 ・勤労の権利と義務, 労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解させる。 ・社会資本の整備, 公害の防止など環境の保全, 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化, 消費者の保護について, それらの意義を理解させる。 ・財政及び租税の意義, 国民の納税の義務について理解させる。 ・対立と合意, 効率と公正, 分業と交換, 希少性などに 	<ol style="list-style-type: none"> 1 わたしたちの消費生活 2 契約と消費生活 3 消費者の権利を守るために 4 消費生活を支える流通 5 生産活動と企業 6 株式会社の仕組み 7 労働の意義と労働者の権利 8 労働環境の変化と課題 9 市場経済と価格の決めり方 10 価格の働き 11 貨幣の役割と金融 12 私たちの生活と金融機関 13 景気と金融政策 14 グローバル経済と金融 15 私たちの生活と財政 16 政府の役割と課題 17 社会保障のしくみ 18 少子高齢化と財政 19 公害の防止と環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ・市場経済の基本的な考え方について理解させる。その際, 市場における価格の決めり方や資源の配分について理解している。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ・勤労の権利と義務, 労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ・社会資本の整備, 公害の防止など環境の保全, 少子高齢社会における社会保障の充実・安 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意, 効率と公正, 分業と交換, 希少性などに着目して, 個人や企業の経済活動における役割と責任や, 社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し, 表現している。 ・対立と合意, 効率と公正, 分業と交換, 希少性などに着目して, 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して, 国や地方公共団体が果たす役割や, 財政及び租税の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場の働きと経済について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・国民の生活と政府の役割について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 	B (2)

2		<ul style="list-style-type: none"> ・着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 		<p>定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 	<p>について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>	
12 2	地球社会とわたしたち	<p>12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解させる。 ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解させる。 ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>1 国際社会における国家 2 領土をめぐる問題の現状 3 国際連合のしくみと役割 4 地域主義の動き 5 新興国の台頭と経済格差 6 地球環境問題 7 資源・エネルギー問題 8 貧困問題の現状 9 新しい戦争 10 難民問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 <p>D (2)</p>

学期	単元名	項目	単元のねらい（目標）	主な学習内容
1 学期	自然観察の基礎 6	観察の基本 生物の観察（6）	自然観察の基礎基本を身につけ、中学理科の導入とする。	観察の基礎（情報収集の方法・観察の基本・記録の方法・単位の考え方）を身につける （スケッチの仕方、顕微鏡の使い方を理解する）
	いろいろな生物 2 2 + 1	1 生物の分類（2） 2 植物の分類（10） 3 動物の分類（10）	身近な生物についての観察・実験を通して、生物の調べ方の基礎を身につけるとともに、生物のからだのつくりとはたらきを理解させ、生物の種類やその生活についての認識を深める。	植物の分類 被子植物の花のつくりと分類 裸子植物の花のつくりと分類 花が咲かない植物の分類（シダ・コケ等） 動物の分類 セキツイ動物の特徴と分類 無脊椎動物の特徴と分類
2 学期	身のまわりの物質 2 4 + 1	1 身のまわりの物質とその性質（8） 2 気体の性質（4） 3 水溶液の性質（6） 4 物質の姿と状態変化（6）	身のまわりの物質についての観察や実験を通して、固体・液体・気体の性質、物質の状態変化について理解させるとともに、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身につけさせる。	身の回りの物質の性質を様々な方法で調べる（密度、電気の通りやすさ、加熱など） 金属、非金属の識別 粉末を識別する実験 気体を発生させて捕集し、性質を調べる実験 水溶液の粒子モデル化 水溶液から溶けている物質を取り出す（濾過） 溶解度と再結晶の操作と考察 状態変化に伴う、体積や質量の変化を調べる 沸点や融点の測定・混合物の分離 蒸留
	身のまわりの現象 2 3 + 1	1 光の世界（10） 2 音の世界（5） 3 力の世界（8）	身近な事象・現象についての観察・実験を通して、波動（光・音）の規則性について理解するとともに、これらの事象を日常生活と関連づけて科学的にみる見方や考え方を養う。 身近な事象・現象についての観察・実験を通して、力の規則性について理解するとともに、これらの事象を日常生活と関連づけて科学的にみる見方や考え方を養う。	光の反射や屈折の規則性を調べる 凸レンズの働き、像のでき方を調べる 音が発生している物体が震動していることを確かめる 音の大きさや高さを決めているものを調べる 力のはたらきを調べる実験をする 力の測り方 力とはねの伸び 力の表し方 作図の方法 重さと質量の違い 力のつり合い（2力のつり合いの実験と作図）
3 学期	大地の変化 2 3 + 1	地層や岩石の観察（2） 1 火を噴く大地（7） 2 動き続ける大地（5） 3 大地の変化を読みとる（9）	大地の活動の様子や身近な地形・地層・岩石などの観察を通して、地表に見られる様々な事象・現象を大地の変化と関連づけてみる見方や考え方を養う。	地形や地層・岩石の観察方法を学ぶ 火山の形、活動の様子、およびその噴出物を調べる 火山岩と深成岩の観察を行う 日本付近で起こる地震の特徴を探る 断層等の構造について調べる 野外で地形や地層を観察する 地層のでき方を考察し、重なり方の規則性を調べる 堆積岩や化石を観察し地質年代について知る
	観点	知識・技能	思考・判断・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	自然の事象・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができたか。	自然の事象・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。	自然の事象・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。
	具体的評価項目	○実験・観察の取り組み ○定期テスト ○小テスト 単元末テスト パフォーマンステスト ○ワークシート・レポートの内容等	○小テスト（記述問題） ○単元末テスト ○定期テスト ○授業ノート ○ワークシートの内容 等	○実験・観察の取り組み ○授業への取り組み ○ワークの提出 ○ワークシート・レポートの内容 等

※理科室の使用の都合や観察に使用する生物の関係で、時期が多少前後したり、入れ替わったりすることがあります。

◎単元毎の指導計画案・評価の具体案は「東京書籍、新しい科学 指導計画作成資料」を参照のこと。

学期	単元名	項目	単元のねらい（目標）	主な学習内容
1 学期	化学変化と原子分子 34+1	1 物質の成り立ち（8）	化学変化についての、実験・観察を通して、化合・分解などにおける物質の変化やその量的な関係について理解させるとともに、これらの事象を、原子・分子のモデルと関連づけてみる見方や考え方を養う。	加熱や電流による分解の実験を行う 物質は原子・分子からできていることを理解し、原子は記号で表されることを知る 2種類の物質を化合させる実験を行う 化学変化を化学式で表す（化学反応式） 燃焼 酸化と還元 質量保存の実験をする（質量保存の法則） 化合する割合を調べる実験を行う 化学変化と熱の発生
		2 物質どうしの化学変化（8）		
3 酸素が関わる化学変化（6）				
4 化学変化と物質の質量（8）				
5 化学変化とその利用（4）				
2 学期	生物のからだのつくりと はたらき 35+1	1 生物と細胞（8）	生物（植物・動物）についての観察・実験を通して、細胞の働き・生物のからだのつくりと働きを理解させ、生命活動への認識を深める。	いろいろな細胞（水中の微生物等）の観察を行い、細胞の基本的なつくりを理解する 植物と動物の細胞を顕微鏡観察し、つくりの特徴を理解する 葉の働きと光合成 光合成と物質の関係 植物と呼吸 植物の維管束（葉や茎のつくり） 植物と水の関係 消化系や循環系・血液の循環・排出系についての観察や実験を行う。（だ液の糖化実験など） 神経系、運動器官のつくりと特徴を調べる 目や耳、鼻、皮膚、舌などの感覚器官の特徴を調べる 骨格と筋肉のはたらき
		2 植物のからだのつくりとはたらき（10）		
3 動物のからだのつくりとはたらき（12）				
4 刺激と反応（5）				
3 学期	天気とその変化 25+1	1 気象の観測（12）	身近な気象の観察・観測を通して、天気の変化の規則性に気づかせるとともに、気象現象について、それが起きる仕組みと規則性についての認識を深める。	天気図についてに基本的技能を身につける（観測の方法や記録の仕方を身につける） 大気圧と圧力 気圧とは 気圧と風 校内や校庭などで気象観測を行う。 水蒸気量の変化と温度の関係 飽和水蒸気量 霧や雲の発生についての観察や実験を行う 露点の実験 前線の通過の際の気象要素や天候の変化を天気図や気象データから調べる 温暖前線、寒冷前線について知る 数日間の天気図などから天気を予測する 日本の天気の特徴 季節風 海陸風 天気の変化の予測 大気の動きと海洋の影響 自然災害 雷雨、台風の知識 気象情報の利用
		2 雲のでき方と前線（6）		
3 大気の動きと日本の天気（9）				
3 学期	電気の世界 34+1	1 静電気と放電（6）	電流回路についての実験・観察を通して、電流と電圧との関係及び電流の動きについて理解させるとともに、日常生活と関連づけて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養う。	静電気を発生させる実験を行う（電子を含） 真空放電と陰極線、電子の存在 放射線の性質 回路図をもとにして直列回路と並列回路を組み、電流と電圧の大きさを調べる 電流と電圧の関係を調べる（オームの法則） 電流によって発生するエネルギー（熱や光）を調べる 磁石や電流の回りの磁界を調べる 磁界の中に置いたコイルに働く力を調べる モーターの原理 コイルと磁石で電流を発生させる実験をする 発電機の原理 直流と交流
		2 電流の性質（15）		
		3 電流と磁界（13）		
	観点	知識・技能	思考・判断・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができたか	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。
	具体的評価項目	○実験・観察の取り組み ○定期テスト ○小テスト 単元末テスト パフォーマンステスト ○ワークシート・レポートの内容等	○小テスト（記述問題） ○単元末テスト ○定期テスト ○授業ノート ○ワークシートの内容 等	○実験・観察の取り組み ○授業への取り組み ○ワークの提出 ○ワークシート・レポートの内容 等

※理科室の使用の都合や観察に使用する生物の関係で、時期が多少前後したり、入れ替わったりすることがあります。

※気象情報の活用のために年間を通じて特別に気象分野を扱う場合があります。

◎単元毎の指導計画案・評価の具体案は「東京書籍、新しい科学 指導計画作成資料」を参照のこと。

	単元名	項目	単元のねらい（目標）	主な学習内容
1 学期	化学変化とイオン 28+1	1 水溶液とイオン（8）	水溶液の電気伝導性や電気分解を調べる実験を行い、イオンの存在や原子の成り立ち、電池の仕組みを理解する。酸とアルカリの水溶液の特性を調べる実験・中和反応を行い、仕組みを理解する。	水溶液と電流 電解質のはたらき
		2 酸・アルカリとイオン（10）		原子の成り立ちとイオン 酸アルカリとイオン 中和と塩
3 化学変化と電池（10）	化学電池の仕組み ボルタ電池・ダニエル電池の実験 身の回りの電池			
2 学期	生命の連続性 22+1	1 生物の成長と生殖（8）	身近な生物についての観察・実験を通して、細胞レベルで見た生物のつくりと生殖について理解させるとともに、親の形質が子に伝わる現象について認識させる。 また、生物の多様性と進化についての関係性について認識を深める。	体細胞分裂の観察と細胞の変化 有性生殖と無性生殖の特徴を理解する 染色体と遺伝 遺伝の規則性 遺伝子・DNA 遺伝子研究の活用 生物の歴史と生物の分類 進化の過程 進化の証拠 進化と多様性
		2 遺伝の規則性と遺伝子（8）		力の合成と分解 慣性の法則、作用反作用の法則、力と運動の規則性 水中ではたらく力 水圧と浮力 エネルギーの形態 力学的エネルギー 仕事の原理と仕事率 エネルギーの形態変換と保存
3 生物の多様性と進化（6）	エネルギーに関する観察・実験を通して、エネルギーの基礎について理解するとともに、これらの事象を日常生活と関連づけて科学的な見方や考え方を養い、エネルギーに対する興味・関心を高める。			
2 学期	運動とエネルギー 30+1	1 物体の運動（10）	身のまわりの物体の運動の観察・実験を通して、運動の調べ方の基礎を身につけるとともに、力と運動についての基本的な規則性を理解し、これらの事象を日常生活と関連づけて、運動の初歩的な見方や考え方を養う。	物体の運動のようすを記録する方法 記録タイマーの使用法 水平面の運動と運動の分析方法 斜面を下る台車の運動を調べる 摩擦の少ない平面での台車の運動を調べる
		2 力のはたらき方（8）		力の合成と分解 慣性の法則、作用反作用の法則、力と運動の規則性 水中ではたらく力 水圧と浮力 エネルギーの形態 力学的エネルギー 仕事の原理と仕事率 エネルギーの形態変換と保存
3 エネルギーと仕事（12）	エネルギーに関する観察・実験を通して、エネルギーの基礎について理解するとともに、これらの事象を日常生活と関連づけて科学的な見方や考え方を養い、エネルギーに対する興味・関心を高める。			
3 学期	地球と宇宙 24+1	1 地球の運動と天体の動き（12）	身近な天体の観察を通して、地球の運動について考察させるとともに、太陽の特徴及び太陽系について認識を深める。	透明半球を使った太陽の日周運動の観察 天体の日周運動を地球の自転と関連づける 四季の星座の移り変わり、季節による昼夜の長さを地球の公転や地軸の傾きと関連づける 月の運動（見え方・日食と月食） 惑星（金星）の見え方 モデル実験 太陽、太陽系の天体の特徴を理解する 銀河系とその他の天体
		2 月と惑星の見え方（6）		生態系の成り立ちと物質の循環 生態系における生物の役割と関係性 炭素の循環と地球温暖化 人間の活動と自然環境 自然環境の調査と保全 様々な物質の利用 プラスチックの性質・分別 エネルギー資源の利用・発電 科学技術の発展とあり方 自然災害と地域 地球環境と社会 30年後の社会の実現
		3 宇宙の広がり（6）		
3 学期	地球と私たちの未来のために 24+1	1 自然の中の生物（6）	自然における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解し、自然と人間の関わり方について総合的に見たり、考えたりすることができるようにする。 エネルギー資源の利用と環境保全との関連や科学技術の利用と人間生活との関わりについて認識を深めるとともに、日常生活と関連づけて、科学的に考える態度を養う。	生態系の成り立ちと物質の循環 生態系における生物の役割と関係性 炭素の循環と地球温暖化 人間の活動と自然環境 自然環境の調査と保全 様々な物質の利用 プラスチックの性質・分別 エネルギー資源の利用・発電 科学技術の発展とあり方 自然災害と地域 地球環境と社会 30年後の社会の実現
		2 自然環境の調査と保全（4）		
		3 科学技術と人間（7）		
		自然災害と地域 地球環境と社会 30年後の社会の実現		
	観点	知識・技能	思考・判断・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	自然の事象・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけることができたか。	自然の事象・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。	自然の事象・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。
	具体的評価項目	○実験・観察の取り組み ○定期テスト ○小テスト 単元末テスト パフォーマンステスト ○ワークシート・レポートの内容等	○小テスト（記述問題） ○単元末テスト ○定期テスト ○授業ノート ○ワークシートの内容 等	○実験・観察の取り組み ○授業への取り組み ○ワークの提出 ○ワークシート・レポートの内容 等

※理科室の使用の都合や観察に使用する生物の関係で、時期が多少前後したり、入れ替わったりすることがあります。

※天文現象の活用のために年間を通して特別に天体分野を扱う場合があります。

○単元毎の指導計画案・評価の具体案は「東京書籍、新しい科学 指導計画作成資料」を参照のこと。

音楽科の学習 第1学年

1 音楽科の学習のねらい

①歌唱	・歌唱に親しみ、歌詞を理解して歌い方を工夫できるようにする。 ・混声合唱の学習を通して、曲の構成や音の重なりを理解し、合唱の良さを味わえるようにする。
②器楽	・アルトリコーダーや和楽器などに親しみ、基本的な演奏技術を身につける。
③創作	・表現したいイメージを持ち、リズムの特徴を生かしてリズムを作れるようにする。
④鑑賞	・日本の伝統的な音楽や、諸外国の音楽に興味・関心を持ち、主体的に鑑賞し自分の言葉で批評することができるようにする。

2 第1学年の学習内容

表 現		
歌 唱	器 楽	創 作
<ul style="list-style-type: none"> ・校歌 ・浜辺の歌 合唱祭に向けて ・夏の日の贈りもの ・各クラスの合唱曲 ・赤とんぼ ・そのままの君で ・変わらないもの など 	<ul style="list-style-type: none"> アルトリコーダー ・よろこびのうた ・かっこう ・メリーさんのひつじ ・ラヴァーズコンチェルト ・アニーローリー ・オーラリー など 箏体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・創作

鑑 賞
<ul style="list-style-type: none"> ・ソネットを手がかりに、曲想の変化を感じ取ろう「春」 ・詩の内容と曲想との関わりを感じ取ろう「魔王」 ・日本の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わおう「六段の調べ」

3 評価の観点

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」

○実技テスト 声量、声質、音色、運指、強弱、音の長さ、プレス、フレーズ、拍子、楽曲の持つ雰囲気等が適切に表現できる

○鑑賞の感想文 曲の良さや特徴を味わったり気づいたりすることができ、それを理解できる。音楽的なことに触れながら、自分の言葉で批評できる

○期末テスト 音楽に関する知識がある

○授業中の態度 音楽に関心を持ち、周囲と協力しながら意欲的に音楽活動に取り組む

4 観点の達成度

達成度 80%以上（十分満足できる）…A 50～79%（おおむね満足できる）…B
50%未満（努力を要する）…C

音楽科の学習 第2学年

1 音楽科の学習のねらい

- ①歌唱 ・歌唱に親しみ、歌詞を理解して歌い方を工夫できるようにする。
・混声合唱の学習を通して、曲の構成や音の重なりを理解し、表情豊かに歌えるようにする。
- ②器楽 ・アルトリコーダーなどに親しみ、基本的な演奏技術や表現力を身につける。
- ③創作 ・表現したいイメージを持ち、和音の特徴を生かしてリズムや旋律を作れるようにする。
- ④鑑賞 ・日本の伝統的な音楽や、諸外国の音楽に興味・関心を持ち、主体的に鑑賞し自分の言葉で批評することができるようにする。

2 第2学年の学習内容

表 現		
歌 唱	器 楽	創 作
<ul style="list-style-type: none"> ・校歌 ・翼をください 合唱祭に向けて ・風になりたい ・各クラスの合唱曲 ・夏の思い出 ・そのままの君で ・変わらないもの など 	<ul style="list-style-type: none"> アルトリコーダー ・きらきら星 ・威風堂々 ・ふるさと など 打楽器のための小品 	<ul style="list-style-type: none"> ・創作

鑑 賞
<ul style="list-style-type: none"> ・フーガの面白さを味わおう「フーガ短調」 ・曲の構成に注目して曲想の変化を味わおう「交響曲第五番ハ短調」 ・オペラに親しみ、その音楽を味わいながら聴こう「アイーダ」

3 評価の観点

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」

○実技テスト 声量、声質、音色、運指、強弱、音の長さ、プレス、フレーズ、拍子、楽曲の持つ雰囲気等が適切に表現できる

○鑑賞の感想文 曲の良さや特徴を味わったり気づいたりすることができ、それを理解できる。音楽的なことに触れながら、自分の言葉で批評できる

○期末テスト 音楽に関する知識がある

○授業中の態度 音楽に関心を持ち、周囲と協力しながら意欲的に音楽活動に取り組む

4 観点の達成度

達成度 80%以上（十分満足できる）…A 50～79%（おおむね満足できる）…B
50%未満（努力を要する）…C

音楽科の学習 第3学年

1 音楽科の学習のねらい

①歌唱 ②器楽 ③創作 ④鑑賞	・歌唱に親しみ、歌詞を理解して歌い方を工夫できるようにする。 ・混声合唱の学習を通して、曲の構成や音の重なりを理解し、より表情豊かに深い表現で歌えるようにする。 ・ギターに親しみ、基本的な演奏技術を身につける。 ・表現したいイメージを持ち、抑揚を生かして旋律を作れるようにする。 ・日本の伝統的な音楽や、諸外国の音楽に興味・関心を持ち、主体的に鑑賞し自分の言葉で批評することができるようにする。
--------------------------	---

2 第3学年の学習内容

表 現		
歌 唱	器 楽	創 作
・校歌 ・花 合唱祭に向けて ・信じる ・各クラスの合唱曲 ・花の街 ・早春賦 ・旅立ちの日に など	ギター ・少年時代 旋律、コードネーム	・創作

鑑 賞
・曲の生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じ取りながら聴こう「ブルタバ」 ・協奏曲に親しもう「アランフェス協奏曲」 ・曲の背景を知って、名曲を味わおう「ボレロ」

3 評価の観点

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」

○実技テスト 声量、声質、音色、運指、強弱、音の長さ、プレス、フレーズ、拍子、楽曲の持つ雰囲気等が適切に表現できる

○鑑賞の感想文 曲の良さや特徴を味わったり気づいたりすることができ、それを理解できる。音楽的なことに触れながら、自分の言葉で批評できる

○期末テスト 音楽に関する知識がある

○授業中の態度 音楽に関心を持ち、周囲と協力しながら意欲的に音楽活動に取り組む

4 観点の達成度

達成度 80%以上（十分満足できる）…A 50～79%（おおむね満足できる）…B
 50%未満（努力を要する）…C

教科名	美術科	学年	第 1 学年
------------	------------	-----------	---------------

学習到達度目標

- 1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を育てる。
- 2) 対象を観察する力、感性や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や基礎的技能を身に付け、創意工夫して美しく表現する能力を育てる。
- 3) 自然や美術作品についての基礎的な理解や見方を広げ、良さや美しさを感じとる鑑賞の能力を育てる。

	学習のねらい	単元名・教材等	主な学習内容
1 学 期	・形や図形を正確に写し取る 技術 を身につける。	・【絵画】（鉛筆デッサン）	・スケッチブックに鉛筆デッサン を行う。
	・画面の中に構図を考えて、デ ッサンする。 ・自分のスケッチから、変化 と統一のある楽しい形を作り 出すことができる。 ・効果的な配色を使い、美しく 彩色することができる。	・【デザイン】（自然物からの構成）	・果物や野菜をスケッチする。 ・直線や曲線、図形を用いて 新 しい形作りを行う。 ・画面構成をする。 ・配色計画を立てる。 ・ポスターカラーの使い方を 知 り、美しく彩色する。
2 学 期	・用と美の備わったデザイン が できる ・工具を使って、切削、仕上 げ がていねいに行ける。	・【工芸】（ペーパーナイフの制作）	・使うということを考えたデザ インをする。 ・動物や植物から美しい形、 面 白い形をさがす。 ・電動のこぎりを使って切断 す る。 ・ヤスリを使って削りだして いく。 ・丁寧で美しい仕上げを目指 す。
	・名画の複製から芸術作品の 良 さや美しさに興味を持ち 自分の価値意識を持つ。	・【鑑賞】（名画から好きな作品を 見 つけよう。）	・名画40点を鑑賞し、作品 の 良さを味わい、鑑賞カー ドに自 分なりの感じ方を記 入し、発表 する。
3 学 期	上履きをかく（淡彩） 静物画 マーブリング、スパッタリング、 デカルコマニー、ド リッピング などを体験す る。 ・友だちの作品の良いところ を 見つけて、発表すること ができ る。	・【絵画】 鉛筆デッサンで上履きをあらわし、 透明水彩絵の具で淡彩を施し、仕上げ る。 ・【絵画、デザイン】 （シルエットを生かしたスパッタリン グ） ・【絵画】【デザイン】 （モダンテクニックの実習）	水彩用紙に鉛筆デッサンして、透 明水彩絵の具の技法を使いさわや かに仕上げる。 ・型紙のシルエットの形とスパッ タリングの技法が効果 的に生か されたデザインを 発想する。 ・黒い紙に適した色合いや色 の 変化の美しさを考える。・モダン テクニックを知り、 その実際を 体験する。

評価について

【授業中の活動】

- ・毎時間の目標と作業進捗を理解し、集中して意欲的に取り組んでいるか評価する。
- ・集中度やすすみ具合（進捗）を評価対象とする。
- ・授業で使う用具や必要な材料をきちんとよういしている。
- ・自分の席できちんと作業ができる。

【学習の成果及び提出物】

- ・それぞれの題材のねらいを理解し、観察力、発想力、表現力等について評価する。
- ・絵画、デザイン、彫刻、工芸については表現するための技法項目が多くやや比重が重い。
- ・提出物では、完成作品の70%以上を評価する。アイデアスケッチ、プリント、クロッキー
ノートなどの提出物も評価対象とする。

【各種テストによる評価】

- ・テストは実施しない。

教科名	美術科	学年	第 2 学 年
------------	------------	-----------	----------------

学習到達度目標

- ・主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- ・感性や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考えを培い、豊かに発想し、構想する能力や自分の表現方法を創意工夫して表現する能力を伸ばす。
- ・自然や美術作品などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることや美術との関わりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

学期	学習のねらい	単元名・教材名等	主な学習内容
1 学期	ポスターの持つ役割を知り、実際に製作する ・条件をふまえて色彩効果・画面構成を考え、美しく仕上げる。	【デザイン】 《条件をふまえたポスターをつくる。》	・自分のテーマの内容にふさわしい、独創的なものを考えてアイデアスケッチをする。 ・モダンテクニックの技法を用いて効果的に彩色する。 ・構想画に適した材料の技法を用いて創造的に表現する。
2 学期	静物画 淡彩でかく 鉛筆デッサンから 自分の手を見つめてスケッチをし、粘土でかたまりを意識した手をつくる。	【 絵画 】 《鉛筆デッサンをする》 【 彫刻 】 《粘土で手を作る》	・手順を理解し、自分の意図を持ち、意欲的に制作に取り組む。 ・自然や動物の姿から心豊かな表現の構想をする。 ・細部にとらわれず、大きく動きをとらえ、つくることに集中して取り組むことができる ・動勢や重心、形をかたまりとして表すことができる。
3 学期	点の粗密で表す点描の技法を知り、自分の空想、動物や植物などを構成する力を養う。 ・黒と白の世界にドットの集まり方で灰色のグラデーションも生まれることを知る。 ・集中してコツコツと仕上げる力を養う。	【絵 画】 《点描でかく》	・自分の空想や動物植物などの題材から白黒のバランスのとれた絵を描く。 ・細かいポイントペンで均一な点をなるべく打っていくようにして、きれいな画面を構成する。 ・集中力を保って作品を仕上げる。

評価について

【授業中の活動】

- ・毎時間の目標と作業進度を理解し、集中して意欲的に取り組んでいるか評価する。
- ・集中度や進み具合（進度点）を評価対象とする。
- ・授業で使う用具や必要な材料をきちんと用意している。
- ・自分の席できちんと作業ができる。

【学習の成果及び提出物】

- ・それぞれの題材のねらいを理解し、観察力、発想力、表現力等について評価する。
- ・絵画、デザインについては、表現するための技法項目が多く、やや比重が思い。
- ・提出物では、完成作品の70%以上を評価する。その他、アイデアスケッチ、プリントなどの提出物も評価対象とする。

【各種テストによる評価】

- ・テストは実施しない。

教科名	美術科	学年	第 3 学 年
------------	------------	-----------	----------------

学習到達度目標

- ・主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- ・感性や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考えを培い、豊かに発想し、構想する能力や自分の表現方法を創意工夫して表現する能力を伸ばす。
- ・自然や美術作品などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることや美術との関わりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

学期	学習のねらい	単元名・教材名等	主な学習内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・空想の世界をテーマとして自分のイメージした心象風景や主役が生きる構想画を発想する。 ・モダンテクニックの技法を学び、多様な表現方法を知る。 ・表現したい意図にあった画材を生かし、効果的に表現する。 	【絵画・デザイン】 《CDジャケットをつくろう》	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のテーマの内容にふさわしい、独創的なものを考えてアイディアスケッチをする。 ・モダンテクニックの技法を知り、作り出す。 ・構想画に適した材料の技法を用いて効果的、創造的に表現する。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中のデザインや工芸に関心を深め、自分の良さを生かして主体的に取り組む。 ・篆刻にふさわしいデザインの効果を考え、自分の名前から表現の構想を練り、美しく彫り上げる。 	【彫刻】 《自分の蔵書印を作ろう》	<ul style="list-style-type: none"> ・高麗石の特徴を知り、石の硬度に適したデザインの条件を理解する。 ・自分の姓名にあったデザインや自分らしい個性的なアイディアを考え、ていねいに彫りすすめる。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・点の粗密で表す点描でかくことを知り、自分の空想、動物や植物などを構成する力を養う。 ・黒と白の世界にドットの集まり方で灰色のグラデーションも生まれることを知る。 ・集中してコツコツと仕上げる力を養う。 	【絵画】 《点描でかく》	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の空想や動物植物などの題材から白黒のバランスのとれた絵を描く。 ・細かいポイントペンで均一な点をなるべく打っていくようにして、きれいな画面を構成する。 ・集中力を保って作品を仕上げる。

評価について

【授業中の活動】

- ・毎時間の目標と作業進度を理解し、集中して意欲的に取り組んでいるか評価する。
- ・集中度や進み具合（進度点）を評価対象とする。
- ・授業で使う用具や必要な材料をきちんと用意している。
- ・自分の席できちんと作業ができる。

【学習の成果及び提出物】

- ・それぞれの題材のねらいを理解し、観察力、発想力、表現力等について評価する。
- ・絵画、デザインについては、表現するための技法項目が多く、やや比重が思い。
- ・提出物では、完成作品の70%以上を評価する。その他、アイディアスケッチ、プリントなどの提出物も評価対象とする。

【各種テストによる評価】

- ・テストは実施しない。

学年	第1学年		教科目標	技術	・材料の特質を理解し、生活に役立つ作品を作ろう ・作物を栽培して、生活に生かそう
教科	技術・家庭			家庭	・家族・家庭について考えよう ・健康な食生活をするための基礎を身につけよう
学期	単元名		単元のねらい（目標）		主な学習内容
1学期	技術	・木材と生活 レポート作り	・木材と生活について考え、自分の考えを伝える。	・木材と生活の歴史・現在・未来について考察し、発表する。	
		・作物の栽培	・作物の栽培を通して、生活や社会環境との関わりについて考える	・作物の栽培を通して、土づくり、肥料等生物育成の方法を学ぶ。	
2学期	技術	・ものづくり 生活に役立つ作品 製作	・材料の特質を知り、生活に役立つ簡単な作品を製作することにより、物作りの基礎を学ぶ。 ・作品の自己評価	・いろいろな材料の特徴についてのレポートを作成する。 ・製作図の表し方（キャビネット図、等角図） ・安全に留意して、作品の製作を行う。 ・作品づくりを振り返り、物作りについてのまとめを行う。	
		A 家族・家庭生活	・家庭や家族の基本的な機能を知り、家族関係によりよくする方法を考える。	・家族・家庭の役割について知る。 ・家庭の働きを考える。	
3学期	家庭	B 衣食住の生活 [食生活]	・食事の役割について知る。 ・中学生に必要な栄養を理解する。	・食事の役割を考える。 ・栄養と健康について学ぶ。	
		B 衣食住の生活 [住生活]	・食生活の自立に必要な実践的な知識と技能を習得する。 ・健康を考えた食事を考えることができる。 ・住まいの基本的な役割について理解する。	・食品の選択と保存について学ぶ。 ・調理室の使い方を知る。 ・調理実習の準備と実習をする。 ・1日分の献立を考える。 ・住まいのはたらきを考える。	
評価方法	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	具体的評価	・製作物 ・作業進度 ・各工程の評価 ・定期テスト ・機器・器具の名称、使い方の理解など	・実技テスト ・レポート ・用語の意味 ・授業時の発言内容等	・提出物などの創意・工夫 ・作品の創意・工夫 ・学んだ知識・技能を適切に使う工夫	・出席 ・服装 ・忘れ物 ・提出物（作品、レポート、ワーク、ノート、プリント等） ・作業、実習態度 ・発言発表等授業態度
備考	○技術分野（前期）、家庭分野（後期）の入れ替えは10月中旬頃を予定しています。今年度は少人数指導によりクラスによって技術を受ける人、家庭科を受ける人が分かれます。 ○評価については前期分は2学期に、後期分は3学期に記載されます。学年評価は、技術分野と家庭分野の総合した評価が記載されます。				
学習のポイント	技術		家庭		
	・安全第一で実習を受けましょう。 ・創意工夫を作品に盛り込みましょう。 ・様々な人と協力したり、相談したりしましょう。		プリントで授業を行います。教科書と合わせて覚えましょう。 教科書には実習に必要な基礎縫いのやり方も載っていますので、教科書を中心に勉強して下さい。 必要なことは自分でメモをしましょう。		

学年	第2学年		教科目標	技術	・エネルギーを変換して、生活に役立てよう
教科	技術・家庭			家庭	・基礎縫いのやり方を覚え、実践できるようにしよう ・消費生活と環境について考えよう
学期	単元名		単元のねらい（目標）		主な学習内容
1 学期	家庭	B 衣食住の生活 [衣生活]	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の衣服を整えることができるようにする。 ・衣服の選択、着用、手入れに関する基礎的な知識と技能を身につける。 ・衣服の手入れと補修（基礎縫い）ができるようにする。 ・消費生活に必要な基礎知識を身につけ、環境にも配慮したより良い消費生活について考える。 ・生活の中から課題を見出し、解決に向けて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の計画的な活用と選択について学ぶ。 ・衣服の材料（繊維、糸、布地について）を学ぶ。 ・衣服の手入れと補修ができるようにする。 ・基礎縫いを使った作品を作る。 ・販売方法や消費生活と契約などについて学ぶ。 ・環境に配慮した暮らし方を考える。 ・生活の中から課題を見出し、解決に向けて考え、実践を行いレポートにまとめ発表する。 	
		C 消費生活と環境 生活の課題と実践			<ul style="list-style-type: none"> ・これからのエネルギー変換とその利用について考える。 ・エネルギー変換と力の伝達について学ぶ。 ・ラジオを作り、エネルギーの変換について理解する。 ・作品作りの工程にしたがって製作する ・作品の自己評価が行える
2 学期	技術	・エネルギー変換のレポート作成 ・ものづくり ラジオの製作	<ul style="list-style-type: none"> ・これからのエネルギー変換とその利用について考える。 ・エネルギー変換と力の伝達について学ぶ。 ・ラジオを作り、エネルギーの変換について理解する。 ・作品作りの工程にしたがって製作する ・作品の自己評価が行える 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なエネルギー変換について学ぶ。 ・インターネットや教科書等を利用して、創意あるエネルギー変換のレポートづくりを行う。 ・安全に留意したラジオの製作 ・はんだづけ等の電子工作の基礎を学ぶ。 ・電子部品の働きを知り、組み立てられる 	
3 学期		<ul style="list-style-type: none"> ・製作物 ・作業進度 ・各工程の評価 ・定期テスト ・機器・器具の名称、使い方の理解など 			<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト ・レポート ・用語の意味 ・授業時の発言内容等
評価方法	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
備考	<p>○技術分野（前期）、家庭分野（後期）の入れ替えは10月中旬頃を予定しています。今年度は少人数指導によりクラスによって技術を受ける人、家庭科を受ける人が分かれます。</p> <p>○評価については前期分は2学期に、後期分は3学期に記載されます。学年評価は、技術分野と家庭分野の総合した評価が記載されます。</p>				
学習のポイント	技術		家庭		
	<ul style="list-style-type: none"> ・安全第一で実習を受けましょう。 ・創意工夫を作品に盛り込みましょう。 ・様々な人と協力したり、相談したりしましょう。 		<p>プリントで授業を行います。教科書と合わせて覚えましょう。教科書には実習に必要な基礎縫いのやり方も載っていますので、教科書を中心に勉強して下さい。必要なことは自分でメモをしましょう。</p>		

学年	第3学年			教科目標	技術	・エネルギーを変換して、生活に役立てよう
教科	技術・家庭				家庭	・幼児の生活について学ぼう。 ・3年間学んだことを総合的にまとめ生活を良くしていく力を身につけよう。
学期	単元名		単元のねらい（目標）		主な学習内容	
1学期	技術	・情報に関する技術 ・情報モラル	・生活と技術のかかわり ・ソフトウェアの機能と情報の処理 ・情報モラルとコンピュータの利用		・日常生活をデジタル化する。 「デジタル日記の作成」 「コンピュータで季節の手紙を作成」 ・情報の収集・発信の際のルールとマナーについて考える。	
	家庭	・幼児の生活と遊び	・自分の成長について知る。 ・幼児に関心を持ち、幼児の生活と遊びについて知る。		・自分の成長について知る。 ・幼児の生活と遊びについて学ぶ。	
2学期	技術	・情報に関する技術 自動制御	・コンピュータで問題の解決を図る。 (情報収集の仕方を考え、処理する能力を養う) ・プログラムによる計測・制御の学習		・個人新聞づくりを通して、自分の思いを作品にする。(HTML形式で保存してホームページとしての情報発信の仕方を学ぶ) ・インターネット等からテーマに関する情報を得て、作品に活かす。	
	家	・幼児の遊びとふれあい	・幼児のおもちゃや生活に役立つものの製作ができる。		・幼児のおもちゃや生活に役立つものの製作をする。	
3学期	技術	・情報に関する技術 作品づくり	・コンピュータで問題の解決を図る。 (情報収集の仕方を考え、処理する能力を養う) ・情報をインターネット等から、自分に必要な情報を得ることができる。		・コンピュータでプログラムを作成して、モーターロボット等の制御について学ぶ。 ・インターネット等からテーマに関する情報を得て、作品に活かす。	
	家庭	・これからの私たちと家族 ・3年間のまとめ	・中学生として、家族との関係をよくすることを考える。 ・技術・家庭科の3年間のまとめをする。		・人生設計を考える。 ・3年間の学習をまとめる。	
備考	○技術分野、家庭分野を各自がバランス良く課題達成に向けて学習します。 ○評価は技術分野と家庭分野の総合した評価が、「技術・家庭」として各学期と、学年評価の評価欄に記載されます。					
評価方法	観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	具体的評価	・製作物 ・作業進度 ・各工程の評価 ・定期テスト ・機器・器具の名称、使い方の理解など	・実技テスト ・レポート ・用語の意味 ・授業時の発言内容等	・提出物などの創意・工夫 ・作品の創意・工夫 ・学んだ知識・技能を適切に使う工夫		・出席・服装・忘れ物 ・提出物(作品、レポート、ワーク、ノート、プリント等) ・作業、実習態度 ・発言発表等授業態度
備考	○技術分野、家庭分野をバランスよく課題達成に向けて学習します。 ○評価は技術分野と家庭分野の統合した評価が、「技術・家庭」として各学期と学年評価の評価欄に記載されます。					
学習のポイント	技術			家庭		
	・安全第一で実習を受けましょう。 ・創意工夫を作品に盛り込みましょう。 ・様々な人と協力したり、相談したりしましょう。			プリントで授業を行います。教科書と合わせて覚えましょう。 教科書には実習に必要な基礎縫いのやり方も載っていますので、教科書を中心に勉強して下さい。 必要なことは自分でメモをしましょう。		

体育学習の流れ

令和 5年度 山王中学校

1 年

学習の仕方を身につけ、運動を好きになろう

自己評価 自己相互評価 自己相互評価 自己相互評価 自己評価 自己相互評価

体づくり I

陸上 I ・ 器械

水 泳
保 健

体づくり II

武道 ・ 陸上 II
球技 II ・ ダンス

球技 II

球技 II

自分の体力を知ろう

特性を学び楽しさを知ろう

泳ぐ楽しさを味わおう

○基本技能・ゲーム方法・ルールを学ぼう
○自己の力を出し切ろう
○心身の機能の発達と心の健康について学ぼう

基本技能を身につけよう

基本技能・ゲーム方法・ルールを学ぼう

【保 健】

2 年

体力の向上を目指して、運動に意欲的に取り組もう

自己評価 自己相互評価 自己相互評価 自己相互評価 自己評価 自己相互評価

体づくり I

陸上 I ・ 球技 I

水 泳 ・ 器 械

体づくり II

武道 ・ 陸上 II
球技 II ・ ダンス

球技 II

球技 II

○高まった体力を知ろう

○記録に挑戦しよう

自己の能力に応じた課題に挑戦しよう

○課題解決の仕方を知り、自己を高めよう

○自己記録の向上を目指そう

○健康と環境について学ぼう

自己の技能を向上させよう

協力して課題解決の方法を学ぼう

【保 健】

3 年

課題解決能力とコミュニケーション能力を高めよう

自己評価 自己相互評価 自己相互評価 自己相互評価 自己評価 自己相互評価

体づくり I

陸上 I ・ 球技 I

水 泳 ・ 器 械

体づくり II

武道 ・ 陸上 II
球技 II ・ ダンス

球技 II

球技 II

課題解決に向けて、練習計画を立て、協力し合いながら学習を進めよう

お互いのコミュニケーション能力を高め、積極的に助言・励まし合おう

【保健学習】 傷害の防止について学ぼう

山王中学校 保健体育の授業について

- 1、山王中学校保健体育科の目標
- 2、体育の授業のきまり
 - (1) 服装
 - (2) 用具の使用
 - (3) 見学
 - (4) 体育委員・体育係の仕事
- 3、授業の流れ
- 4、山王ウォームアップ
- 5、成績

しっかり確認！！



1、山王中学校保健体育科の目標

- 技能・体力向上…目標を持ち自ら技能・体力を向上しよう
- 頭脳を使う…正しく動く・安全に動く・どうしたらできるようになるのか考えよう
- 協力しよう…みんなでやる！→運動も、準備も、片付けもみんなで協力しよう

「好きなことも、嫌いなことも、得意なことも、不得意なことも、

目標を持ち、前向きに全力でやってみよう！」=やればできる！

2、体育の授業のきまり

(1) 服装

- 山王中指定の体育着を着用しましょう。(転校生を除く)
 - 4月～10月は半袖・短パン(ハーフパンツ)
 - ※清掃前、ジャージ・ぞうきん等持ってくることは可です。
 - ※次の授業で使う場合でも、タブレットを下駄箱に置いておくのはやめましょう。
 - 11月～3月はジャージ着用可(冬服への衣替えに合わせて授業でアナウンスします)
 - ※腰パン・シャツ出し等だらしない服装はしません。→腕まくり、萌え袖等も不可です。
 - ※ジャージ着用の際は、下に関係ないものを着ないようにしましょう。(Yシャツなど)
- 休み時間の着替えを素早くし、授業開始時刻に必ず間に合うようにしましょう。
- 靴はランニングシューズとし、部活動での専門シューズ(スパイク等)は使用しません。
 - ※登下校の際も、体育の授業で認められているランニングシューズを使用しましょう。

(2) 用具の使用

- 授業で使用する用具は休み時間は使用しないようにしましょう。

(3) 見学

○見学者は生徒手帳の見学届欄に保護者の記入・印鑑をもらいましょう。体育の授業開始前、体育担当に提出してください。

○学校で気分が悪くなった場合は養護の先生に診てもらい、連絡カードに記入してもらいます。

※授業に来てから、生徒手帳や連絡カード無しでの見学は原則として認められません。

○見学者でもできる活動は行いましょう。

○見学者の服装は授業を行う人と同じ服装とします。制服では見学しません。

※ジャージの中にYシャツを着ての見学は不可です。

○授業中、体調が優れない場合には、速やかに先生に申し出てください。

○仲間へのアドバイスや授業準備・片付け、体育カードの記入を充実させる（仲間の良かったところや技能のポイント等を詳しく書く）などして、実技ができなかった分のカバーをするようにしましょう。

(4) 体育委員・体育係の仕事

○授業開始前、クラス全員を並ばせ、人数を確認し、体育担当の先生に報告します。

○クラスの前頭に立って、集合・号令・準備運動・トレーニングを行います。

○次の授業の教科連絡を聞きます。

※早めに授業連絡をしましょう。(体育の先生は出張が多く聞けなくなることもあります。)

※授業前に用具の準備を協力して積極的に行いましょう。

※積極的に声をかけ明るい雰囲気クラスをまとめましょう。

※体育委員・体育係中心に、安全に積極的に活動しましょう。



3、授業の流れについて

※種目によって授業の流れや内容が変わる場合があります。

①道具（図解体育・ファイル・筆記用具・学習カード・スポーツ用縄跳び）を持って所定の場所へ移動する。

忘れ物をしてしまった場合は、授業開始前に必ず申し出る。

②チャイムが鳴る前にクラスごとに体操隊形で整列して体育座りで静かに待つ。

体育委員・体育係は人数確認・報告。

☆授業開始のチャイム☆

③整列・あいさつ（大きな声で返事・あいさつ）

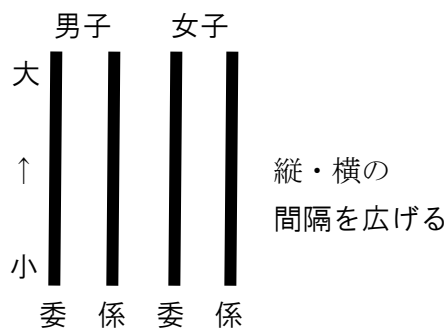
④3分間走・快調走

④準備運動・補強運動

⑤実技・学習

⑥記録の記入・自己評価

⑦あいさつ（大きな声で返事・あいさつ） 解散



【整列・あいさつについて】

○号令は体育委員・体育係が授業ごとに順番にかける。

(起立、前へならえ — なおれ ※このとき、横との間隔も調整する)
休め、気をつけ、
「これから、○時間目の授業を始めます」
「これで、○時間目の授業を終わりにします」 — 「ハイ」、礼
— 「お願いします。」「ありがとうございました。」

※列の基準は一番前の最も右側の人に合わせる。

☆「気をつけ」の姿勢 5つのポイント

- ①かかとをつける ②つま先を45°に開く ③指先を伸ばし体側に
- ④前をしっかり見る(頭を動かさない) ⑤胸を張る

☆「前へならえ」のポイント

- ①腕は床と平行 ②指先まで伸ばす ③タイミングをそろえる

※動きのキレ・素早さと元気のいい声出しを意識する!!!

【その他の授業中のきまりについて】

○話を聞くときは体育座りで聞きます。(授業や天候等の状況によって変わります。)

○(移動は駆け足!全員で徹底!!) → 運動時間確保のためです!

○授業中にケガ等をした場合には、速やかに先生に申し出てください。

4、3分間走・快調走・準備運動・補強運動

毎回授業の始めに必ず行うウォーミングアップです。
本気で取り組めば必ず力が伸びます。大きな声で元気よく取り組もう!

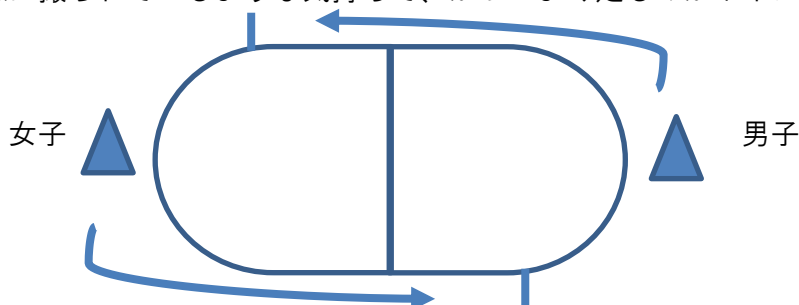


○3分間走

(1)体を温めてケガを防ぐ(2)持久力を向上させる(3)心を強くするという目的で行います。今年度から3分間走の頑張りを平常点の評価でも重視します。
毎回の授業で自分自身に挑戦しよう!

○快調走(校庭:70m×2)※体育委員、係が両側に立ち、用意、ハイでスタートさせる。

8-9割くらいの力でダッシュします。3分間走でのコンパクトなフォームからスプリントの大きなフォームに切り替えて走ることで、より速いスピードが出る体の使い方が身につきます。映像に撮られているような気持ちで、カッコよく走るのがポイント!



○準備運動

※○○さん基準、体操隊形に、開け！ — ○○さん基準、元の位置に、集まれ！

※運動はすべて左側から行う = 体育委員は右側から行う（鏡になろう！）

- (1) 屈伸（くっしん）→ (2) 伸脚（しんきやく）→ (3) 前後屈（ぜんこうくつ）→
(4) 回旋（かいせん）→ (5) アキレス腱（アキレスけん）→
(6) 手首・足首・首（てくび・あしくび・くび）

○補強運動

・腕立て伏せ10回 ・補助倒立10秒

5、成績について

評価・評定については次の3つの観点で評価をする。

※やむを得ない事情を除き、出席回数が極端に少ない場合は、各評価項目において大幅な減点あるいは評定不能となるので注意しましょう。

① 運動や健康・安全への知識及び技能

○知識…運動の特性や成り立ちが分かる、運動に関連して高まる体力が分かる等
例) 授業で、ルールを知っている、技能の名称を知っている

定期テストで、運動の特性についての問題、保健の問題を理解し記入できる

単元レポートで、特性・技能のポイント・考えたことを丁寧に記入できる

○技能…運動の特性に応じた動きができる、合理的な動きを身に付けている等
例) 正しく、大きく、速く、合理的に動くことができる

球技では、仲間と協力し、たくさんボールに触れる、シュートが決まる

水泳では、速く泳げる、長く泳げる など

② 運動や健康・安全についての思考力、判断力、表現力等

・自己の能力に適した運動の課題解決を目指して、学習の仕方を考え工夫し活動しようとする。

例) 作戦会議でチームの作戦を積極的に考える、記録が向上するためのコツを友

達にアドバイスする、体育カードを技能のポイントを踏まえて詳しく書ける、

定期テストで考えて答える問題に正しく記入できる

③ 学びに向かう力、人間性等

・積極的に授業に取り組み、前向きに自分の力を伸ばそうとしている。

・自ら進んで運動を実践し、運動の楽しさや喜びを味わおうとする。

例) 素早い集合、元気なあいさつ・かけ声、協力して準備・片付け 等

4つの観点を照らし合わせて、どこまで達成できたかを5段階で評価します。

**1年間楽しい体育の授業を
みんなで作りあげていきましょう！！**

令和5年度 年間指導計画 | 1学年 英語科

月	時	課 Sec	題材・文の形式	主な言語材料		各時間の目標
				基本文 (抜粋)		
1 学期	6	① ② ③ ④	Get Ready ようこそ！ みたい中学校へ / みたい中学校の仲間たち 新しい仲間インタビューしよう / 自分のことを友だちに知ってもらおう	like / can / want to ~ / when, whereの疑問文など	好きなものやできることなどについて、聞き取ることができる。 自分のことを知ってもらうために、好きなものやできること、行きたい国などについて、話したり書いたりすることができる。 相手のことを知るために、友だちや先生の好きなものやできること、出身や誕生日などについて、伝え合うことができる。 ポスターに書いてある内容について、概要や要点を捉えることができる。 自分のことを知ってもらうために、自分の誕生日や好きなもの、入りたい部活について書くことができる。	
				① Do you ~? / Can you ~? / I want to be ~, etc. ② I'm ~ / You're ~ / I (don't) like ~ / I (can't) ~ / I want to go to ~, etc. ③ When is your birthday? Where are you from? What do you want to be? ④ 上記①~③の内容	アルファベットを確認しよう つづり字と発音 アルファベットを確認しよう つづり字と発音	アルファベットの形と発音 アルファベットの文字と音 / ABCソング フォニックスの基本
	1		辞書を引いてみよう	辞書の引き方	辞書の引き方について理解することができる。	
	5	1	友だちを作ろう	be動詞 (肯定・否定・疑問) / whereの疑問文	職業や性格などの相手についての情報を聞き取り、自己紹介したりすることができる。 海外の有名人になりきって自己紹介をすることができる。 登場人物になつても質問に答えるために、自己紹介についての会話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 相手にわかってもらえるように、自分のことについて伝えたり、質問に答えたりすることができる。 自己紹介をするために、自分のことについて、書くことができる。	
	1	WW1	数の言い方	数字, 年齢, 電話番号, 値段	年齢や電話番号, 値段などについて聞き取り、伝え合ったりすることができる。	
	5	2	1-Bの生徒たち	一般動詞 (肯定・否定・疑問) / 複数形 / whenの疑問文	登場人物の好きなことやふだんすることについて聞き取り書いたりすることができる。 相手の好きなことやいつするかについて聞き取り書いたりすることができる。 登場人物になつても質問し答えたりするために、趣味についての会話文を読んで、要点を捉えることができる。 お互いのことをよくなるために、好きなことやふだんすることについて、伝えたり質問に答えたりすることができる。 好きなことやふだんすることについてほかの人に伝えるために、書くことができる。	
	1	WW2	曜日と天気の違い	曜日の歌, Sunday ~ Saturday	今日の曜日や天気などについて、たずねたり答えたりすることができる。	
	1	St1	英語でやりとりしよう①	Are you ~? / Do you ~? / when, whereの疑問文	好きなことやふだんすることについてたずねたり答えたりすることができる。	
	1		アクションコーナー アクションカード①~④を使い、～しなさい、～してはいけませんを言う。	命令文 Play baseball. Don't [Do not] play baseball.	「してほしいこと」「してはいけないこと」について、聞き取り伝え合ったりすることができる。	
	5	3	タレントショーを聞こう	can (肯定・否定・疑問) / whatの疑問文	登場人物や身の回りの人の「できること」「できないこと」について、聞き取り書いたりすることができる。 登場人物「できること」「できないこと」を絵からわかることについて、聞き取り書いたりすることができる。 登場人物の「できること」「できないこと」をほかの人に伝えるために、タレントショーについての会話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 相手にわかってもらえるように、動物が「できること」「夢のロボット」について伝え合うことができる。 動物が「できること」「夢のロボット」についてほかの人に伝えるために、写真や絵を相手に示しながら概要を話したり書いたりすることができる。	
	1	St2	考えを整理し、表現しよう	マッピングの使用	自分の好きなことについて、自分の考えや気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができる。	
	4	OP1	あなたの知らない私 自己紹介	(これまでの復習)	「あなたの知らない私」というテーマのスピーチの概要を聞き取り読み取りすることができる。 相手がまだ知らない自分の意外な一面を知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な単語や文などを用いて自己紹介をしたり、自己紹介の英文を書いたりすることができる。 相手をもっとよく知るために、友だちのスピーチを聞いて自分が感じたり、考えたりしたことを即興で伝え合うことができる。	
1	PU1	ハンバーガーショップへ行こう	Can I have ~? / How much ~?	ハンバーガーショップで注文するために、自分が食べたいものやその金額などを伝え合うことができる。		
5	4	Let's Enjoy Japanese Culture.	This is ~. That is ~. (肯定・否定・疑問) / 代名詞 / whoの疑問文	友だちや身の回りのものについて、聞き取り書いたりすることができる。 登場人物の様子などについて、聞き取り書いたりすることができる。 質問したり答えたりするために、日本文化についての会話文を読んで、要点を捉えることができる。 相手にわかってもらえるように、食べ物や動物、教科書の登場人物について説明し、質問したり答えたりすることができる。 食べ物や動物、教科書の登場人物についてのクイズを作るために、簡単な単語や文などを用いて書くことができる。		
1	PU2	持ち主をたずねよう	Which ~? / Whose ~?	持ち主がだれかをたずねたり、自分や相手の持ち物などについて伝え合ったりすることができる。		
2 学期	5	5	The Junior Safety Patrol	三人称・単数・現在 (肯定・否定・疑問)	自分と相手以外の人について聞き取り書いたりすることができる。 登場人物やあるキャラクターについて、聞き取り書いたりすることができる。 国による文化の違いについて知るために、子ども安全パトロールについての会話文を読んで、必要な情報を捉えることができる。 だれを紹介しているか相手にわかってもらえるように、友だちについて質問したり、答えたりすることができる。 友だちを紹介するために、友だちについて書くことができる。	
	1	WW3	季節・月の名前	春夏秋冬, January ~ December	自分の好きな季節や月などについて伝え合うことができる。	
	5	6	The Way to School	him, her / whyの疑問文, Because ~.	登場人物や好きなキャラクターの家族などについて聞き取り書いたりすることができる。 好きなものやその理由について、聞き取り書いたりすることができる。 海外の通学事情について知るために、映画についての会話文を読んで、要点を捉えることができる。 相手にわかってもらえるように、有名人や好きな人物について伝え合うことができる。 好きな人物を紹介するために、その理由について、書くことができる。	
	1	PU3	道案内をしよう① (駅ビル)	Where is ~? / Turn right, and ~. など	駅ビルの道案内で、自分が行きたい場所や行き方などを伝え合うことができる。	
	1	PU4	店内放送を聞こう	放送を聞いて、商品の特長を聞き取る。	店内放送で使う表現について、聞き取ることができる。	
	1	WW4	順番・日付の言い方	序数	自分の誕生日について伝え合ったりすることができる。	
	5	7	Research on Australia	There is [are] ~ / howの疑問文	登場人物や自分の地域にあるものについて聞き取り書いたりすることができる。 登場人物や自分の学校に来る手段について、聞き取り書いたりすることができる。 オーストラリアについて知るために、オーストラリアについての会話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 相手にわかってもらえるように、文具の場所や交通手段などについて伝え合ったり書いたりすることができる。	
	1	St3	話の組み立て方を考えよう	スピーチの構成	自分の好きな季節について、自分の考えや気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができる。	
	1	St4	英語でやりとりしよう②	Is this [that / he / she] ~? / Does he [she] ~? など	相手のできることや好きなことなどについて、canや自分以外のものを示す言い方、理由や存在、手段などの表現の特徴や決まりの理解をもとに、伝え合うことができる。	
	1	WW5	疑問詞のまとめ	5W1Hを使った疑問文	さまざまな疑問詞の意味や働きを理解をもとに、相手や自分のことについて質問したり答えたりすることができる。	
	4	OP2	この人を知っていますか 他人紹介	(これまでの復習)	「この人を知っていますか」というテーマのスピーチを聞き取り読み取りすることができる。 自分の好きな人物を伝えるために、自分の考えや気持ちなどを整理し、好きな人物について紹介したり、英文を書いたりすることができる。 相手の好きな人物をもっとよく知るために、友だちのスピーチを聞いて自分が感じたり、考えたりしたことを即興で伝え合うことができる。	
	1	PU5	インタビューを聞こう	ドラスもんへのインタビューを聞き取る。	インタビューで使う表現について、その人物の誕生日などの情報を聞き取ることができる。	
5	8	The Year-End Events	現在進行形 (肯定・否定・疑問)	登場人物や友だちが今していることについて聞き取り書いたりすることができる。 登場人物が今していることや友だちがジェスチャーしているものについて、聞き取り書いたりすることができる。 登場人物の年末年始の過ごし方を理解するために、年末年始についての会話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 自分が何をしているか相手にわかってもらえるように、今していることについて質問したり、答えたりすることができる。		
1	St5	絵や写真を英語で表現しよう	インフォメーションギャップ	相手にわかってもらえるように、ある絵の特徴について情報を伝え合うことができる。		
3 学期	8	9	A Trip to Finland	一般動詞の過去形 (肯定・疑問・否定)	週末にしたことについて、聞き取り書いたりすることができる。 週末にしたことについて、聞き取り書いたりすることができる。 3日前にしたことについて、聞き取り書いたりすることができる。 フィンランドの様子について話するために、フィンランドについての会話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 フィンランドの様子についてほかの人に伝えるために、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話したり書いたりすることができる。 相手にわかってもらえるように、過去にしたことについて、伝え合うことができる。	
	1	St6	文の内容を整理し、表現しよう	PROGRAM 9の内容を図表で整理する。	PROGRAM 8,9で聞いたり読んだりした内容について、情報を整理し、説明することができる。	
	8	10	Grandma Baba's Warming Ideas!	be動詞の過去形 / 過去進行形 (肯定・疑問・否定)	登場人物の昨日の様子や先週末にしたことについて聞き取り書いたりすることができる。 登場人物の昨日の様子や友だちがジェスチャーしているものについて、聞き取り書いたり書いたりすることができる。 登場人物の昨日の様子や昨日の夜9時にしていたことについて、聞き取り書いたり書いたりすることができる。 ばばあちゃんの物語の内容をほかの人に伝えるために、物語文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 ばばあちゃんの物語の内容をほかの人に伝えるために、絵を相手に示しながら話したり書いたりすることができる。	
	1	St7	英語でやりとりしよう③	Are [Were] you (watching) ~? / Did you ~? など	相手のしていることやしたことについて、伝え合うことができる。	
	4	OP3	私が選んだ1枚 picture description	(これまでの復習)	「私が選んだ1枚」というテーマのスピーチを聞き取り読み取りすることができる。 思い出の出来事や自分の好きなものなどを伝えるために、自分の考えや気持ちなどを整理し、写真や絵を相手に示しながらスピーチをしたり、英文を書いたりすることができる。 相手の思い出の出来事や好きなものをもっとよく知るために、友だちのスピーチを聞いて自分が感じたり、考えたりしたことを即興で伝え合うことができる。	
	1	PU6	絵はがきを書こう	手紙の書き方	友だちに絵はがきを出すために、自分が行ったことのあるところについて、場所や簡単な文や表現を用いて書くことができる。	

令和5年度 年間指導計画 2学年 英語科

月	時	課	題材・文の形式 本文の概要	主な言語材料 基本文(抜粋)	各時間の目標例		
1	8	1	辞書を読んでみよう	辞書に書かれている情報について確認する。	単語の意味や品詞の違いを理解するために、辞書を引くことができる。		
		1	Start of a New School Year ① 対話：予定や計画を伝える。 ② 対話：これからすることを伝える。 ③ メール文：～のとき…。/もし～ならば…。	未来表現 / 接続詞 when / if ① I'm going to have a concert with Joe next Sunday. Is he going to sing? ② I'll answer it. It'll be dark soon. ③ When you called me, I was in the yard. If you're free today, can you come to our concert?	週末の予定について、聞き取ったり書いたりすることができる。 登場人物や友だちがいつ何をやるのかについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 登場人物のお別れ会についてほかの人に伝えるために、教室やお別れ会での会話文やメールについて概要や要点を捉えることができる。 登場人物のお別れ会についてほかの人に伝えるために、絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。 ・自分の考えを相手にわかってもらえるように、夏休みなどの予定について、理由や具体的な内容を伝え合うことができる。 ・外国人に自分の住んでいる地域を紹介するために、自分が住んでいる地域のおすすめについて、理由や具体的な内容とともに書くことができる。		
		1	St1 情報をつなげながらメモをとろう	マッピングでメモをとる。	インタビューでより深い情報を得るために、マッピングなどを活用して情報を整理しながら、聞き取ったり伝えたりすることができる。		
	8	2	Leave Only Footprints ① 対話：考えを伝える。 ② 対話：義務や命令について伝える。 ③ 対話：必要性について伝える。	接続詞 that / must / have [has] to ① I think (that) it's too early. I don't think I'll hear the phone. ② We must pick it up. You mustn't pick it. ③ We have to hurry. We don't have to.	登場人物や自分の考えについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 ルールなどについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 しなければならないことについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 登場人物の海外での体験をほかの人に伝えるために、カナダでのハイキングについての会話文の概要や要点を捉えることができる。 登場人物の海外での体験をほかの人に伝えるために、カナダでのハイキングについて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。 自分の考えを相手にわかってもらえるように、修学旅行で行きたい場所やペットにしたい動物について、理由とともに伝え合ったり、書いたりすることができる。		
		1	PU1 天気予報を聞こう	カナダの天気予報を聞く。	天気予報を聞いて、必要な情報を捉えることができる。		
		1	PU2 電話をかけよう	英語で電話をかける。	いろいろな場面に応じて、自分の状況や要件などについて電話で伝え合うことができる。		
	1	WW1 スープの材料	野菜、肉、調味料など	自分たちの好きなスープ作りに必要な材料について伝え合うことができる。			
	8	3	Taste of Culture ① 対話：自分のしたいことを言う。 ② 対話：動作について言う。 ③ 発表：行動の目的を言う。/～するための…	(to+動詞の原形) (不定詞) / (動詞の-ing形) (動名詞) ① I want to see your performance. ② I enjoy dancing every day. Please stop talking about it. ③ I'll go to New York to study dance. I have a lot of things to do.	週末にしたいことなどについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 楽しんでいることについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 あるものクイズについて、聞き取ったり伝えたりすることができる。 登場人物が学んだことをほかの人に伝えるために、世界の屋台料理に関する会話・スピーチの概要や要点を捉えることができる。 登場人物が学んだことをほかの人に伝えるために、世界の屋台料理に関する会話・スピーチについて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。 自分の考えを相手にわかってもらえるように、将来やりたい職業について、理由とともに自分の考えを伝え合ったり、夢を実現するために必要なことについて書いたりすることができる。		
		1	St2 文章の構成を考えよう	スピーチの構成	自分の行きたい場所を紹介するために、自分の考えについて、書くことができる。		
		4	OP4 「夢の旅行」を企画しよう ① モデルを確認し、グループで企画を練る。 ② チャットを通して、企画を洗練する。 ③ 本番の練習、協働学習で助言。 ④ 発表、評価、振り返り。	(これまでの復習)	「夢の旅行」というテーマのスピーチを聞き取ることができる。 ・自分たちの「夢の旅行」について伝えるために、自分たちの考えなどを整理し、写真や絵などを相手に示しながらスピーチをすることができる。 ・相手のグループの「夢の旅行」についてもっとよく知るために、友だちのスピーチを聞いて自分が感じたり、考えたりしたことを即興で伝え合うことができる。 ・友だちの「夢の旅行」について思ったことを伝えるために、自分が「行きたいと思った企画」と「じょうずだったグループ」について、書くことができる。		
	4	R1	Gon, the Little Fox	Reading (復習)	物語について自分の考えを伝えるために、『ごんぎつね』の物語を読んで、概要や登場人物の心情を捉えたり、思ったことについて書いたりすることができる。		
	1	WW2	いろいろな形容詞	cheap⇔expensiveなど対義語の形容詞	形容詞の意味や働きを理解をもとに、絵の内容について伝え合うことができる。		
2	8	4	High-Tech Nature ① 対話：2つのものを比べる表現 ② 対話：3つ以上のものを比べる表現 ③ 発表：同じ程度のものを比べる表現	比較級 / 最上級 / as~as~ ① The gray one is cuter than the yellow one. But it's more expensive than the yellow one. ② I feel June is the longest month of the year. I think it's the most wonderful month. ③ I think this cup is as big as hers. Also, it's not as heavy as hers.	身近なものを比べた内容について、聞き取ったり書いたりすることができる。 気温や自分が「もっとも〜だ」と思うものについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 身長や身近なものを比べた内容について、聞き取ったり書いたりすることができる。 読んだ内容をほかの人に説明するために、生物をヒントにした技術についての会話文の概要や要点を捉えることができる。 生物をヒントにした技術についてほかの人に伝えるために、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。 自分の考えを相手にわかってもらえるように、自分の好きなものや大切なものについて、インタビューしたり理由とともに答えたりすることができる。		
		1	WW3 楽器の名前	オーケストラなどで使われる楽器	自分が演奏したい楽器について伝え合うことができる。		
		8	5	Work Experience ① 対話：～の仕方 ② 対話：様子・状態を言う。 ③ 発表：～に…を～する。	how to ~ / (look+形容詞) (become+名詞 [形容詞]) / (主語+動詞+人+もの) ① I don't know how to do it. ② You look tired. You'll become a good runner. ③ I'll show you my score.	やり方を知っているものなどについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 登場人物や友だちの様子について、聞き取ったり書いたりすることができる。 登場人物や自分がしてほしいことについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 登場人物の体験をほかの人に伝えるために、職場体験の様子についての会話文の概要や要点を捉えることができる。 登場人物の体験をほかの人に伝えるために、職場体験の様子について、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。 ・何かの仕方や人の様子について、相手にわかってもらえるように伝え合うことができる。 ・忘れないようにするために、自分がもらったアドバイスでよいと思ったものについて、書くことができる。	
	1	PU3	レストランで食事をしよう	入店から注文までのやり取り	レストランで注文するために、自分の食べたいものやおすすめのメニューなどについて伝え合うことができる。		
	8	6	Live Life in True Harmony ① 対話：～される。 ② 対話：～によって…された [されましたか]。 ③ 説明文：～に知られている。 健はスティービー・ワンダーの曲や彼が音楽に込めた思いについて知る。	受け身 ① I think fresh cream is used. It's made in Hokkaido. ② It was built by Ashikaga Yoshimitsu. Was Ginkakuji temple built by him too? ③ Shirakawa-go is known to people around the world. All the houses are covered with snow.	身の回りのものについて、聞き取ったりクイズを出したりすることができる。 だれかによってされたものについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 原料や材料について、聞き取ったり書いたりすることができる。 スティービー・ワンダーについてほかの人に伝えるために、彼の曲や信念に関する会話文の概要や要点を捉えることができる。 スティービー・ワンダーについてほかの人に伝えるために、彼の曲や信念に関する会話文について、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。 ・自分の考えを相手にわかってもらえるように、みんなに知られている人やもの、イベントについて伝え合うことができる。 ・友だちに紹介するために、自分の好きな本や絵、マンガ、建物などについて、話したり書いたりすることができる。		
		1	St3	会話をつなげ、深めよう	相づち、疑問詞を使った疑問文など	自分の好きな人物について伝え合うことができる。	
		4	OP5 こんな人になりたい ① モデルを確認し、グループで企画を練る。 ② チャットを通して、企画を洗練、原稿を書く。 ③ 協働学習で助言、ポスターの完成。 ④ 全グループのポスターを読む、評価、振り返り。	(これまでの復習)	ある人物について書かれたポスターの内容を読み取ることができる。 ・ある人物についてほかの人に伝えるために、その人物に関する情報について、即興で伝え合ったり、書いたりすることができる。 ・ある人物について知るために、友だちの書いたポスターを読んで、概要や要点を捉えることができる。		
	4	R2	Friendship beyond Time and Borders	Reading (復習)	・トルコと日本間の友好関係について理解するために、トルコと日本に関する英文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・自分の考えを伝えるために、国と国が友好関係を築くために大事なことについて、書くことができる。		
	1	WW4	いろいろな前置詞	位置を表す前置詞	絵の内容について伝え合うことができる。		
	3	8	7	A Gateway to Japan ① 対話：～してしまつた。(完了) ② 対話：もう～してしまいましたか。/まだ～してない。(完了) ③ 発表：～したことがある【ない】。(継続)	現在完了 (完了, 経験) ① I've already read it. I've just started reading it. ② Have you taken a bath yet? No, I haven't. I haven't packed my bags yet. ③ I've never seen Mt. Fuji. Have you ever climbed Mt. Fuji? I've climbed it twice.	すでにしてしまったことやちょうど終えたことについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 すでにしてしまったことやまだしていないことについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 原料や材料について、聞き取ったり書いたりすることができる。 海外での日本文化の人気をほかの人に伝えるために、日本のポップカルチャーについての会話文の概要や要点を捉えることができる。 海外での日本文化の人気をほかの人に伝えるために、日本のポップカルチャーについて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。 ・相手にわかってもらえるように、予定の進捗状況やこれまでの経験などについて伝え合うことができる。 ・ほかの人に伝えるために、自分の聞いた最も驚くような体験や経験について、書くことができる。	
			1	St4	相手にわかりやすい説明をしよう	相手が未知のものについて説明する手法	相手が知らないものについて、相手がわかるように説明することができる。
			1	PU4	空港アナウンスを聞こう	便名、行先、状況を正確に聞き取る。	空港アナウンスを聞き、必要な情報を聞き取ることができる。
7		8	A Hope for Lasting Peace ① 対話：ずっと～している。(継続) ② 説明文：ずっと～し続けている。 ③ 説明文：なし	現在完了 (継続) / 現在完了進行形 ① I've practiced it since I was ten. How long have you been a black belt? ② We've been waiting for half an hour.	過去から現在まで続いていることについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 これまでずっと続けていることについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 登場人物の修学旅行での体験をほかの人に伝えるために広島平和記念公園の折り鶴についての会話文と記事の概要や要点を捉えることができる。 登場人物の修学旅行での体験をほかの人に伝えるために広島平和記念公園の折り鶴について写真や絵を見て相手に示しながら概要を話すことができる。 どんな人物になリたか相手にわかってもらえるようにその人の特技、ほしいもの、友だちなどについてインタビューに答えたりカードに書いたりすることができる。		
		1	St5	説得力のある主張をしよう	客観的な事実や具体的な理由とともに主張する。	相手に納得してもらえるような理由も含めて、自分の主張を伝えることができる。	
		1	PU5	メールで近況報告をしよう	事実に対して感想や意見をそえてメールを書く。	自分の近況を報告するために、最近の出来事について、自分の感想などを含めながら、まとまりのある英文を書くことができる。	
4		OP6 この1年で得た「宝もの」 ① モデルを確認し、構想を練る。 ② 本番の練習、協働学習で助言。 ③ 発表、評価、ポスター文集作り。 ④ ポスター文集を完成させる。	(これまでの復習)	この1年で得た「宝もの」というテーマのスピーチを聞き取ることができる。 ・この1年で自分が得た「宝もの」について伝えるために、自分たちの考えなどを整理し、写真や絵などを相手に示しながらスピーチをすることができる。 ・友だちのこの1年で得た「宝もの」についてもっとよく知るために、スピーチを聞いて自分が感じたり、考えたりしたことを即興で伝え合うことができる。 ・友だちへ感謝のメッセージを伝えるために、自分の気持ちなどについて、書くことができる。			
1		WW5	町の風景	身の回りの施設など	自分が行きたい場所への行き方をたずねたり答えたりすることができる。		
4		R3	Visas of Hope	Reading (復習)	・杉原千蔵の行った行動についてほかの人に伝えるために、杉原千蔵に関する英文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・自分の考えを伝えるために、杉原千蔵に関する英文を読んで思ったことについて、書くことができる。		

令和5年度 年間指導計画 3学年 英語

学期	課	題材・文の形式 本文の概要	主な言語材料 基本文(抜粋)	各時間の目標例
1		辞書を使いこなそう	句動詞の引き方	辞書の引き方について理解し、句動詞調べることができる。
		Bentos Are Interesting!	①ask [tel / want] ~ (人) to... ② It is ~ (for + 人) to ~ ③ 主語 + be動詞 + 形容詞 + that ~	友だちに手伝ってほしいことについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 登場人物にとって簡単なことや自分の好きなことなどについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 心配なことやうれしなことなどについて、聞き取ったり書いたりすることができる。
	①	対話：～に～するように頼む。	基本文 ①Mr. Oka told us to write a speech.	日本や海外の弁当文化についてほかの人に伝えるために、会話文やブログを読んで、概要や要点を捉えることができる。 日本や海外の弁当文化についてほかの人に伝えるために、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。
	②	対話：～する～である。	②It's difficult for me to read kanji.	相手にわかってもらえるように、頼みたいことや大事なものについて伝え合うことができる。
	③	説明文：感情の原因や具体内容を言う。 お花見にやってきました真央といこのビルは日本の弁当文化について話 す。翌日、真央はインドの弁当配達サービスについてのブログを見つ	③I'm afraid that it will rain.	
	www	家の中と外	家具、設備、衣服など	部屋の中などについて聞き取ったり、伝え合ったりすることができる。
	St1	ディベートをしよう	ディベートの流れと意見の主張の仕方	相手にわかってもらえるように、「家と図書館ではどちらが読書に適した場所か」というテーマについて、自分の考えや事実などを伝え合うことができる。
		Good Night, Sleep Tight.	①主語 + 動詞 + (人) + 疑問詞節 ②主語 + 動詞 + 人など + that ~	コンサートや学校行事があるかなどについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 旅館での対話や自分のお気に入りの作品などについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 寝巻の説明や身延な人がよく言うことなどについて、聞き取ったり書いたりすることができる。
	①	対話：どのように～する～を知っている。	①I can't remember where I put it.	睡眠が生活に与える影響についてほかの人に伝えるために、会話文やネットの記事を読んで、概要や要点を捉えることができる。
	②	対話：何を～すべきか～に教える。	②Can you tell me where she is?	睡眠が生活に与える影響についてほかの人に伝えるために、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。
③	説明文：～だと～に教える。 学校で眠そうしている健に、ミラー先生が睡眠の大切さなどよく眠るコ ツについて話す。その晩、ミラー先生はスマートフォンと眠りの関係、 昼寝を取り入れている会社があることが書かれている記事を見つ	③He told me that he would take it to the teachers' office.	留守の友だちに用件を伝えるために、友だちの母親に伝言を頼むことができる。	
PU1	道案内をしよう②(電車の乗りかえ)	Could you tell me how to get to ~?	電車の乗りかえ案内の場面で目的地に行かぬ使え路線やかかる時間などを伝え合うことができる。	
	A Hot Sport Today	主語 + 動詞 + 目的語 + 補語 (名詞 / 形容詞) / 主語 + 動詞 + 目的語 + 動詞の原形	ニックネームや記念日の名前について、聞き取ったり書いたりすることができる。 登場人物や自分が楽しいと思うものなどについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	
①	対話：～を～と呼ぶ。	①Please call me Alex.	登場人物や自分が笑ったり泣いたりするものなどについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	
②	対話文：～を～にする。	②The warm weather makes me sleepy.	バスケットボールの成り立ちや日本人の人気についてほかの人に伝えるために、会話文やメールなどを読んで、概要や要点を捉えることができる。	
③	メール文：～を～に～させる。 真央とダニエルがバスケットボールについて話す。ダニエルはバスケット ボールの歴史について知り、カナダにいる美希にメールを書く。	③Hot milk makes you sleep well.	バスケットボールの成り立ちや日本人の人気についてほかの人に伝えるために、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。 相手にわかってもらえるように、性格や特徴、気持ちを動かすものについて伝え合うことができる。	
St2	メモのとり方を学ぼう	SW1Hを意識しながらメモをとる。	ほかの人に伝えるために、時期や場所などの重要な情報について、先生の話を聞き取り、書くことができる。	
OP	記者会見を聞こう	(これまでの復習)	ジョン万次郎の記者会見の概要を聞き取ったり読み取ったりすることができる。 ・ある情報や自分の考えなどをほかの人に知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な単語や文を用いて記者会見 をとり、記者会見を聞いて感じたり考えたことを、簡単な単語や文を用いて即興で伝え合ったりすることができる。 ・自分がよいと思った会見者や記者役をほかの人に伝えるために、自分の考えや感想などについて、簡単な単語や文を用いて書くことが できる。	
R1	Faithful Elephants	Reading (復習)	動物園の上野動物園の状況や飼育員の気持ちを理解するために、『かわいそうぞう』の物語を読んで、概要や飼育員たちの心情を捉えたり、自分の考えについて書いたりすることができる。	
PU2	不良品を交換しよう	品物に不備があったので、交換を依頼する。	買ったものを返品したり交換したりするために、買ったものの状態や自分がどうしたいかなどを伝え合うことができる。	
	Sign Languages, Not Just Gestures!	分詞の後置修飾 (現在分詞・過去分詞)	絵の中の人物や動物について、聞き取ったり書いたりすることができる。 どこかの商品や、自分の好きな作品などについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 ASL (アメリカ手話) についてほかの人に伝えるために、会話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 (アメリカ手話) についてほかの人に伝えるために、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。 相手にわかってもらえるように、友だちや外国の人に紹介したい日本のものについて伝え合ったり書いたりすることができる。	
①	対話：～している…。	①I'm sitting next to the boy wearing a red cap.		
②	対話：～された…。	②This is a shirt made in Italy.		
③	対話：なし			
	動画を見てASL (アメリカ手話) に興味を持った真央はいろいろ調べ			
PU3	ホームページで学校を紹介しよう	ホームページの構成を分析し、自分の学校の行事や部活動を英語で書く。	自分の学校を多くの人に紹介するために、学校行事や部活動について、書くことができる。	
St3	かんたんな表現で言いかえよう	英語での言い方を知らないものを、自分が知っている単語で表現する。	相手にわかってもらえるように、英語での言い方を知らないものを自分が知っている単語を使って伝えることができる。	
	The Story of Chocolate	関係代名詞 (主格) who / which / that	くわしく説明された人物について、聞き取ったり書いたりすることができる。 くわしく説明された都道府県や動物について、聞き取ったり書いたりすることができる。	
①	対話：主格の関係代名詞who	①The man who has just run away.	くわしく説明されたものや場所などについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	
②	発表文：主格の関係代名詞which	②A member of the cat family which lives in Africa and Asia.	チョコレートと歴史やフォートレードについてほかの人に伝えるために、会話文やスピーチ原稿を読んで、概要や要点を捉えることができる。	
③	発表文：主格の関係代名詞that	③It's a movie that has touched many people.	チョコレートの歴史やフォートレードについてほかの人に伝えるために、簡単な単語や文を用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。 ・相手にわかってもらえるように、ある人物やもの、キャラクターについてクイズを出したり答えたりし合うことができる。 ・自分の好きな人物やものについて友だちに伝えるために、簡単な単語や文を用いて書くことができる。	
www		健たちはグループ発表の題材にチョコレートを選び、チョコレートの歴史やフォートレードなどについて発表する。		
		look, see, watch / hear, listen	それぞれの状況に合わせて、正しい単語を用いて情報を正しく伝え合ったり書いたりすることができる。 説明されている動物や食べ物、自分のお気に入りの作品について、聞き取ったり書いたりすることができる。 ある人物の様子や持ち物について、聞き取ったり書いたりすることができる。 クラスや自分の好きな食べ物について、聞き取ったり書いたりすることができる。 海のプラスチックごみの問題についてほかの人に伝えるために、まとまりのある英文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 海のプラスチックごみの問題についてほかの人に伝えるために、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。 ゲームの相手や外国からの転校生にわかってもらえるように、お題や日本の学校にあるものについて、質問したり答えたりすることができる。	
2		The Great Pacific Garbage Patch	関係代名詞 (目的格) which / that / 省略	
①	説明文：目的格の関係代名詞which	①Here is a plan which my father made for you.		
②	説明文：目的格の関係代名詞that	②They are the cherry trees that Japan gave to Washington, D.C. in 1912.		
③	説明文：目的格の関係代名詞の省略	③The museum I like the best is near here.		
St5	ディスカッションをしよう	無人島に持って行くものを議論する。	相手に納得してもらえように、「無人島にひとり1か月暮らすことになったら何を持っていくべきか」というテーマについて、自分の考えを理由を含めて伝え合うことができる。	
OP	あなたの町を世界にPRしよう	(これまでの復習)	登場人物の地元PRの概要を聞き取ったり読み取ったりすることができる。 ・自分の地元の魅力を外国の人に知ってもらうために、地元のものや場所について、簡単な単語や文を用いて即興で伝え合うことができる。 ・PRの中で自分がよいと思った点を相手に伝えるために、自分の考えや感想などについて、簡単な単語や文を用いて書いたり、即興で伝え合ったりすることができる。	
8	地元のおもてなしのPR			
①	モデルを確認する。			
②	構想を練り、PRの台本を考える。			
PU4	非常時のアナウンスを聞こう	デパート火災で避難経路を聞き取る。	デパートで火災が起こったときのアナウンスを聞いて、避難経路などの必要な情報を聞き取ることができる。	
	Is Al a Friend or an Enemy?	仮定法過去 / I wish + 主語 + 仮定法過去	登場人物が相手の立場にたつたこと、自分が動物にたつたことについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 登場人物や自分がしたいことについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 登場人物や自分の願望などについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 AI (人工知能) の現状と可能性をほかの人に伝えるために、会話文や英文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 AI (人工知能) の現状と可能性についてほかの人に伝えるために、簡単な単語や文を用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。 ・友だちに伝えるために、ドラえもんが使えるとしたら何がしたいかについて、簡単な単語や文を用いて書くことができる。 ・相手にわかってもらえるように、自分の町にあったらいいと思うものについて伝え合うことができる。	
①	対話：もしそれが～だったら…。	①If I were you, I would ask someone to help.		
②	説明文：もしそれが～したら…。	②If I had some money, I would buy some cakes.		
③	説明文：～だったらいいのに。 ロボットの掃除機、将棋プログラム「ボナンザ」など、飛躍的に進化を遂げているAI技術のすぐれている点と、人間でなくできないことについて考える。	③I wish I had a camera with me.		
R2	Malala's Voice for the Future	Reading (復習)	・マララの思いについて理解するために、彼女の物語を読んで、概要や要点を捉えることができる。・マララのスピーチについて自分の考えを述べ、彼女が経験してきたことなどについて書くことができる。	
SP	中学校の思い出を残そう	(これまでの復習)	登場人物の中学校の思い出を読み取ることができる。 自分たちの中学校の思い出を残すために、学校であったことや自分の思い出などについて、簡単な単語や文を用いて話したり書いたりすることができる。	
www	オリンピック競技・パラリンピック競技	競技名	自分が出てみたい競技などについて、伝え合うことができる。	
FR1	The Ig Nobel Prize	Reading (復習)	イグノーベル賞における日本人の活躍について読み取ることができる。	
FR2	Library Lion	Reading (復習)	ルーニとは何かや、物語を読んで自分が大事に思ったことをほかの人に伝えるために、『としよんライオン』の物語文を読んで、概要や要点を捉えることができる。	

英語の授業の評価の方法

1. 観点別評価

通知表の観点	評価項目
知識・技能	・定期テスト(年間5回) ・パフォーマンステスト (発表形式、生徒同士の会話形式など学期に1回程度)
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	・提出物 ・各種パフォーマンステストに向けての目標・振り返り ・英語を使って、相手に伝えようと努力しているか

※以上の観点をそれぞれABCで評価し、各学期の評定(54321)を決定する

《以下の abcの目安》

a・・・100点満点としたときの90%以上

b・・・100点満点としたときの50%以上

c・・・100点満点としたときの50%以下

(例)

	ペーパーテスト等の結果 (活動の観察の結果を加味)			パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 (ペーパーテスト等の結果を加味)			観点別 評価	評定
	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと			
知識・技能	b	b	c	c	b	B	3	
思考・判断・ 表現	b	b	c	b	c	B		
主体的に学習に 取り組む態度	b	b	b	b	c	B		

自己評価(振り返りの記述内容)を参考